

ミライカナエル活動サポート事業



令和7年度 実施事業報告



スタート支援コース

番号	区分	団体名	事業名
1	ユース枠	湘南太鼓研究会えの	藤沢太鼓まつり
2	一般枠	nico川名	nico川名
3	一般枠	湘南大道芸	ジャグリング体験会 拡充事業
4	一般枠	おとあそび楽団	おとあそび楽団

ステップアップ支援コース

番号	団体名	事業名
1	藤沢市せっけん推進協議会	せっけんでまち洗い

協働コース

- 事業1年目(2年間実施)

番号	区分	団体名	協働相手	事業名
1	行政との協働	特定非営利活動法人 湘南マンション管理組合ネットワーク	藤沢市 住まい暮らし政策課	マンション管理組合運営の 活性化支援事業
2	行政との協働	六会リトルアンサンブル(MLE)	藤沢市教育委員会 教育指導課	子どもたちを地域で育てる 吹奏楽文化の振興

- 事業2年目(2年間実施)

番号	区分	団体名	協働相手	事業名
1	行政との協働	特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット	藤沢市 市民自治推進課	電子回覧板普及支援事業

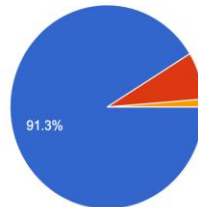
別紙（第 8 号様式「 7 経過と内容」）

事業名	藤沢太鼓まつり
団体名	湘南太鼓研究会えの
1. 事業目的	
和太鼓を通じて市民同士の交流を促進し地域の伝統文化への理解と誇りを育む。また、子供や若者が伝統を学び継承する機会を創出し、次世代の郷土愛と想像力、表現力を育むことを目的とする。	
2. 事業概要	
地元太鼓団体や学校、近隣地域のチームによる演奏披露、体験企画を実施。歴史や自然をテーマとした演目を取り入れ、藤沢市の文化的魅力を発信。世代や国籍を超えた交流を促進し、地域の一体感と観光復興を図る。	
3. 成果目標	
事業を継続して実施することで、年 1 回、150 名が観覧し 50 名が参加する太鼓まつりを定着させる。開催前後に参加者アンケートを実施し、地域文化や和太鼓に関する理解度を 30%以上向上させる。合同練習会を 4 回、ワークショップを 1 回行い、次世代への文化継承と演者同士の連携促進を図る。初年度で地域団体 4 団体の協力を得て、事業継続に向けた地域ネットワークの基盤を形成する。	
4. 成果目標に対する結果	
年 1 回の太鼓まつりを開催し、目標を大幅に上回る 246 名の観覧と 84 名（演者 29 名・WS55 名）の参加を得て、地域行事としての定着を図った。アンケート満足度は 98.3%に達し、「3 歳児から大人まで楽しめる構成」「生の響きの心地よさ」など、和太鼓文化への理解と関心を深める成果を得た。合同練習は効率化を図り 2 回実施、ワークショップ 1 回を通じて 10 代・20 代の参加（11.1%）を含む次世代継承を促進した。初年度から湘南太鼓研究会えの、相州神童太鼓、太鼓集団ふじ、藤嶺学園藤沢和太鼓同好会の 4 団体が参画。さらに江ノ島電鉄（広報）や藤嶺学園（機材）の協力を得て、継続的な地域ネットワークの基盤を強固に構築した。	

5. 実施した事業の内容・時期	
年 月	実施内容
2025 年 8 月	出演予定団体との調整を行い、参加団体を決定
2025 年 9 月	開催会場の確保および開催日程の調整・決定
2025 年 12 月	出演団体間の合同練習日程の調整
2026 年 1 月	フライヤー校了（500 部）、藤沢市役所・市民センター・江ノ電藤沢駅・江ノ島駅にチラシ配架、広報ふじさわ、すぐーる、SNS による広報活動を開始
2026 年 2 月	出演団体による合同曲の練習および神童太鼓との合同練習を実施
2026 年 2 月 28 日	「藤沢太鼓まつり」を開催（4 団体出演、来場者 246 名。和太鼓公演および初心者向けワークショップを実施）。 
2026 年 3 月	来場者アンケートを実施し、事業の満足度や地域文化への関心、今後の継続開催への期待などを把握した。

【来場者アンケート】

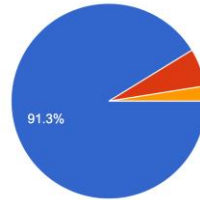
イベントの総合的な満足度
80 件の回答



● とても満足
● 満足
● 普通
● 不満
● とても不満

91.3%が
「とても満足」
と回答

イベントのcontentはいかがでしたか
80 件の回答



● とても良い
● 良い
● 普通
● あまり良くない
● 良くなかった

その他、ご意見ご要望ご感想などをお聞かせください

49 件の回答

とても感動しました。個性あふれて素敵でした！

とても迫力があり素晴らしいです。

子供の時からずっと和太鼓に興味があったので、体験させてもらえて大変ありがたい機会でした。一生の思い出になります。日本の伝統文化を誇りに思っています。次世代への伝承をよろしくお願いします😊

久しぶりに叩きましたがとても懐かしかったです。

体験もとても楽しかったし皆さまの演奏にはすごい迫力で圧倒されました！！ぜひひまた企画してください！！心から待っています。若かったら和太鼓やりたかったなあ～～

初めて太鼓を叩けて楽しかったです！

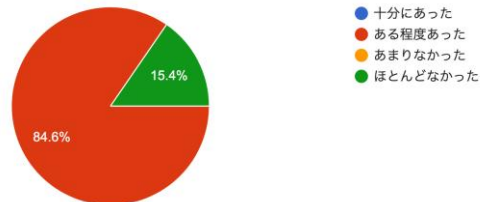
今日は母と一緒に来たのですが、急用で母が来れなくなりました。私は息子2人と母と一緒に和太鼓サークルで太鼓に触れていたのが今日はとても楽しかったです。本当にありがとうございました

音が大きくてびっくりした。たたけて楽しかった。「ドーナツ～」も覚えやすかった。

【参加団体アンケート】

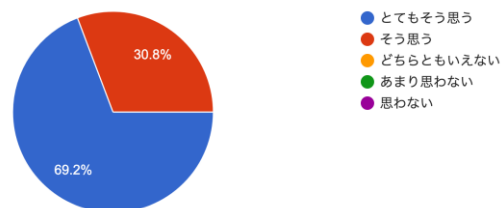
他団体との交流はありましたか？

13 件の回答



今後、合同企画や連携の機会があれば参加したいですか？

13 件の回答



良かった点

8 件の回答

同じ市内で活動していても、ほとんど接点のない他団体の方々とお話が出来ました。団体の運営など参考になることがありました。

ワークショップはとても沢山の参加があり、興味のある人は想像以上に多いことに驚きました。

藤嶺の生徒さんが頑張っているのも良かった。運営など一手に引き受けて下さったえのさんに感謝いたします。

太鼓の体験は子どもから大人まで、幅広い年代の方が参加でき、皆さまが楽しめていたことがとてもよかったと思います。

たくさんの方が楽しんでいただけたところ

役割の中でそれぞれが動けた

普段他の団体との関わりがなかったので、とてもいい機会でした。

他団体との合同開催ということで、見に来てくださった方々にそれぞれの団体の演奏を見ていただけたこと。

他の団体とほぼ交流のなかった我々にとって、非常に貴重な学びと気づきの機会となりました。今後も継続

6. 事業を実施して見えてきた課題

会場は屋内ホールであったため、動線を確保するのが難しく、一部の来場者は混雑により移動や観覧がしづかった。また、ワークショップには多くの参加者が集まりすぎ、遠慮して参加できなかった大人も多数見られ、体験の機会を十分に提供できなかったことが課題となった。音量については、同施設利用者からクレームが1件あり、全館利用などの音量対策や事前の情報共有が必要であることが分かった。さらに、駐車場は満車となる時間帯があり、来場者への案内や周辺交通への配慮を強化する必要がある。また、運営面では、参加団体がより積極的に関わりやすい体制づくりが求められるなど、運営効率や参加者の満足度を高める改善点も明らかになった。

7. 事業に対する自己評価・感想

本事業を通して、子どもから大人まで幅広い世代の方々に和太鼓の魅力を伝える機会をつくることができた。また、地域の太鼓団体が一堂に会し、同じ舞台を共有することで団体同士の交流が生まれ、今後の地域におけるつながりづくりにもつながったと感じている。

ワークショップでは、初めて太鼓に触れる方が短時間の練習の中で簡単な曲を演奏し、舞台上で発表まで行えたことにより、太鼓の楽しさや達成感を実感してもらえる機会となった。さらに、フィナーレでは出演者だけでなくワークショップ参加者や来場者も加わり、会場全体で太鼓を打ち鳴らすことで、観るだけでなく共に創り上げる祭りの形を実現することができた。

アンケート結果からも、地域文化への関心の高まりや、今後の継続開催を期待する声が多く寄せられており、本事業の意義を実感している。今後は今回の経験を活かし、より多くの人に関わる地域の文化イベントとして発展させていきたい。

8. 3年後に叶えたいミライ（ビジョン・取り組み・成果目標）

【3年後に叶えたいミライ（ビジョン）】

和太鼓の響きを通じて、子どもから高齢者まで多世代が自然に交流し、郷土愛と活力にあふれる藤沢市をつくる。

【成果目標】

- ・年間イベント来場者数を 300 名以上に拡大・安定化させる。

- ・次世代（10 代・20 代）の実行委員会への参画人数を現在の 2 倍に増やし、文化継承の体制を強化する。

【目標を達成するための今後の取り組み】

<2026 年度>

①「藤沢太鼓まつり」の運営改善と規模拡大

本事業の来場者アンケートで得られた「会場の混雑」や「駐車場の不足」という意見を踏まえ、想定される参加人数に合わせた適切な会場の検討や、会場レイアウトの見直しを行う。あわせて、近隣施設との連携を強化することで、より円滑な事業運営に努める。

実施回数：1 回/年

目標来場者数：200 名

②「江ノ電沿線・地域連携」の深化

江ノ島電鉄株式会社との協力関係を深め、沿線の活性化に寄与するワークショップやミニパフォーマンスなどの共同企画を検討・実施する。

実施回数：2 回/年

<2027 年度>

①多世代交流を軸とした「太鼓まつり」の自走化

過去の運営ノウハウを活かし、藤嶺学園等の学生ボランティアとの連携をさらに深め、若者が主体となる運営体制を構築して事業を実施する。

実施回数：1 回/年

目標来場者数：300 名

②伝統文化継承プログラムの定例化

これまでのワークショップ参加者の声を反映し、初心者や子どもが継続して太鼓に触れられる定期的な練習会等の事業を定例化する。

実施回数：2 回/年

延べ参加者数：50 名

(収入の部)

(収入の部)

(支出の部)

(支出の部)

※ 収入の部、支出の部の合計が一致するように作成してください。

別紙（第 8 号様式「 7 経過と内容」）

事業名	nico 川名
団体名	nico 川名
1. 事業目的	
ここ数年で児童数が増えている新林小学校では学童保育が定員超過で低学年でも入所できないことから、新林小学区である藤沢市川名を中心に子どもたちと子育て世代のおとなが遊び・学べる居場所をつくる	
2. 事業概要	
長期休みや給食がない平日を中心に子どもたちが安心・安全に遊び・学べる居場所を地域につくる。 また子育て世代のおとなをサポートしていく。そして、地域のなかに根付く居場所としていく。	
3. 成果目標	
居場所の利用者数、毎回 20 人を目標としてすすめていく。また、ボランティアスタッフも 10 人に増やし実施時間を長くすることが目標。 子どもたち同士、そして地域のおとなと顔見知りを増やすことで地域の安全につなげていきたい。また、未就学児とその保護者が参加しやすい午前の開催や中学生以上が参加しやすい夕方の開催もしていくことで多くの世代の参加を目指したい。	
4. 成果目標に対する結果	
本事業と放課後の居場所を合わせた 1 回あたりの平均利用人数は 14 名、のべ 413 名が利用した。 うち、未就学児およびその保護者の利用は、1 回あたり平均それぞれ 2 名、中学生は夏休みに 1 度だけ 1 名利用があった。 ボランティアスタッフは、地域の方 2 名、大学生 3 名が定期的に参加をしている。 そして、工作や学習といった得意を活かし、子どもたちとの交流を深めている。 子どもたちは自分たちで自然と異学年との関わりを円滑にすすめられるような言動がみられている。居場所以外でもお互いにあいさつをすることもあり、地域の安全にも繋がっている。	

5. 実施した事業の内容・時期	
年 月	実施内容
2025 年 8 月	<u>○夏休みの居場所</u> 場所：川名通り町市民の家 日時：8 月 6、20、27 日（水）11:00～16:30 参加人数：55 名 内容：子ども達が自由に入出りできる居場所を開所。 参加費は無料。おとなが 2 人以上で見守る。ランチタイムを設けてお弁当を持参したら食べることができるようにした。 おやつに、塩おむすびを無料で提供。 子どもたち、保護者からも好評だった。 <u>○長期休みの宿題支援</u> 長期休みならではの宿題を支援することで保護者の負担を減らし、子どもたちにも楽しく取り組める場を提供する。「ポスター描き・自由画」と「工作 DAY」を実施。 『ポスター描き・自由画』 場所：川名通り町市民の家 日時：<u>高学年の部 8 月 23 日（土）</u> 午前部 10:00～12:00 午後部 13:00～15:00 <u>低学年の部 8 月 24 日（日）</u> 10:00～12:00 内容：絵画の先生をお招きして、子どもたちの「これを描きたい！」という気持ちに寄り添い、宿題のテーマに沿ったポスターの完成を目指した。 参加人数：高学年の部 6 名 低学年の部 9 名



低学年の部に参加した児童が、「MOA美術館児童作品展」に応募し、入選した。

○工作 DAY

場所：川名通り町市民の家

日時：8月23日（土） 10:00～12:00

参加人数：0名

内容：木材や折り紙、ビーズなどを用意して自由に工作ができるイベントの実施。宿題にある貯金箱の作り方の本も用意をして実施。

用意をしたが、申込みがなく実施に至らなかったため、11月の「おやここうさくワークショップ」を実施した。

2025年9月

○給食のない平日の居場所

場所：川名通り町市民の家

日時：9月1日(月) 2日(火) 11:00～16:30

参加人数：30名

内容：子ども達が自由に入出りできる居場所を開所。参加費は無料。おとなが2人以上で見守る。ランチタイムを設けてお弁当を持参したら食べることができるようにする。

おやつに、塩おむすびを無料で提供。

2025年11月	<u>○おやここうさくワークショップ</u> 内容：クリスマスシーズンに向けてのスノードーム作りやビーズアクセサリーを親子で制作。 場所：川名通り町市民の家 日時：11月30日（日） 10:00~12:00 参加人数：18名
2025年12月	<u>○給食のない平日の居場所（冬休み）</u> 場所：川名通り町市民の家 日時：12月23日(火) 24日（水） 11:00~16:30 参加人数：30名 内容：子ども達が自由に出入りできる居場所を開所。参加費は無料。おとなが2人以上で見守る。ランチタイムを設けてお弁当を持参したら食べることができるようにする。 おやつに、塩おむすびを無料で提供。
2026年1月	<u>○書初めワークショップ</u> 内容：長期休みならではの宿題を支援することで保護者の負担を減らし、子どもたちにも楽しく取り組める場を提供する。「書初め」を実施。 場所：川名通り町市民の家 日時：1月5日(月) 10:00~12:00

参加人数：9名



○給食のない平日の居場所（冬休み）

場所：川名通り町市民の家

日時：1月7日(水) 11:00～16:30

参加人数：16名

内容：子ども達が自由に出入りできる居場所を開所。参加費は無料。おとなが2人以上で見守る。ランチタイムを設けてお弁当を持参したら食べることができるようにする。

おやつに、塩おむすびを無料で提供。

2026年2月

○託児付きワークショップ ペップトーク！～コミュニケーションでごきげんな親子に～

内容：やる気を引き出す言葉掛け（ペップトーク）を学ぶことで、親子関係をより良好にし、家庭内で安心して過ごせる関係づくりにつなげることを目的として実施。

未就学児は託児スタッフを配置、小学生は別室に遊べるスペースを用意することで、保護者がワークショップに集中することができた。

場所：場所：川名通り町市民の家

日時：2月23日（月・祝） 13:45～15:45

参加人数：14名



2026年3月

○給食のない平日の居場所（臨時休校日、春休み）

場所：川名通り町市民の家

日時：3月18日(水) 19日(木) 23日(月・祝) 11:00～16:30

参加人数：計35名

	内容：子ども達が自由に入出りできる居場所を開所。参加費は無料。おとなが2人以上で見守る。ランチタイムを設けてお弁当を持参したら食べることができるようにする。 おやつに、塩おむすびを無料で提供。 ※3月19日は小学校の卒業式のため、在校生は臨時休校だった。そのため、卒業生のきょうだいを対象に9:00～11:00は居場所の早期開放を行った。 <u>Onicoでおしゃべり～新学期いろいろ編～</u> 内容：新年度が始まる前の不安や悩みを気軽に話することができるイベント。 場所：川名通り町市民の家 日時：3月22日（日） 参加人数：9名
6. 事業を実施して見えてきた課題	
・無償でのボランティアスタッフの確保が難しく、有償ボランティアにした場合の資金確保の基盤が必要。 [対応策] 8. 「3年後に叶えたいミライ」の「資金、人材の確保について」に記載。 ・有料開催イベントへの参加者が少ない。 「子どもの居場所」というイメージが定着した結果、保護者や家族での参加が見込めなかった。 [対応策] 今後は、検討中の保護者向けの「おしゃべり会」の回数を重ねることで、地域住民のニーズの聞き取りを行い、事業を企画・実施する。	

7. 事業に対する自己評価・感想

活動開始から 1 年が経過し、多くの方々に本活動を認知していただけたと感じています。

また、地域が抱える課題についても理解を深めていただく機会となり、私たちの活動を応援してくださる方が以前より増えました。

その結果、地域住民の方々によるボランティア参加に加え、藤沢市共創推進課よりご紹介いただいたインターンの大学生にもボランティアとしてご協力いただきました。

さらに、保護者の皆さまからの寄付や、自治会による「子育て支援団体助成制度」の立ち上げなど、地域全体で子どもたちの居場所づくりを支えていただける環境が広がりました。

活動を通じて、地域の理解と協力の輪が着実に広がっていることを実感しています。

8. 3 年後に叶えたいミライ（ビジョン・取り組み・成果目標）

[ビジョン]

地域の子どもたちが安心して集い、自由に過ごせる「みんなの居場所」として、地域にしっかり根差した活動へと成長させていきたいと考えています。

[成果目標]

3 年後には、定期的に 20 名以上の子どもたちが安心して集える居場所として定着させる。また、地域ボランティアや学生支援者 10 名程度が継続的に関わる体制づくりを目指します。

[今後の取り組み]

<2026 年度>

①放課後の居場所事業：週 1 回の定期開催の維持 利用者平均 15 名

低学年の児童対象の居場所を隔週で開催 利用者平均 10 名

②長期休み、給食のない日の放課後の居場所事業：年間15回開催　利用者平均20名

③宿題サポート事業：夏休みの絵画・ポスター、書き初め　参加者10名
学習支援　月1～2回開催　居場所利用児童8名

④自主イベント：親子向けイベント年2回開催、地域イベントへ年2回参加
地域住民や保護者との「おしゃべり会」：月1回開催　利用者平均5名

その他、保護者からいただいた「入学式・卒業式・懇談会の日を開催をお願いしたい」という意見を踏まえ、対象家庭のきょうだい限定の早期開放を実施する。

（希望者には昼食を用意し、保護者の式典当日の負担軽減）

<2027年度>

①放課後の居場所事業：週1回の定期開催の維持　利用者平均20名
低学年の児童対象の居場所を隔週で開催　利用者平均10名

②長期休み、給食のない日の放課後の居場所事業：年間15回開催　利用者平均30名

③入学式・卒業式・懇談会等の早期開放事業：年3回実施　利用平均5名

④宿題サポート事業：夏休みの絵画・ポスター、書き初め　参加者15名
学習支援：週1回開催　居場所利用児童10名

④自主イベント：親子向けイベント年2回開催、地域イベント年4回参加
地域住民や保護者との「おしゃべり会」：月2回開催　利用者平均5名

[資金、人材の確保について]

① 資金

- ・ 寄付金サイトの運用や地域イベントに参加し、活動資金や人件費の確保を行う。
- ・ 地域自治会において、2025 年 12 月に「子育て支援団体補助制度」が設立されました。

活動の認知向上および資金確保のため、自治会主催イベントへの出店機会をご提供いただくなど、継続的な活動を地域全体で応援していただいています。

② 人材

- ・ 運営スタッフが、nico 川名を立ち上げるきっかけとなった、「ふじさわ子どもの居場所スタートアップサポート講座」の受講生が参加するオープンチャットにボランティア募集の声かけを継続的に行っています。
- ・ 居場所を無料開放している理由を明記したチラシを地域や保護者に配布することで、無償ボランティアスタッフの確保を図っていきます。
- ・ 少額ではありますが、ボランティアスタッフに対し謝礼金を支給することは、経済的支援に加え、社会参加への動機づけや自己有用感の向上を促し、社会復帰を支援する一助になるものと考えています。

[今後の展望]

子どもたちの遊びや交流の場としてだけでなく、地域住民がつながり、子育てや暮らしの悩みや不安を気軽に共有できる場としても役割を広げていきたいです。また、地域住民や学生ボランティア、行政、学校との連携をより深め、地域全体で子どもたちを見守り育てる仕組みづくりにつなげていきたいと考えています。

さらに、継続的な運営体制を整え、誰もが無理なく関わることのできる活動として定着させることで、子どもたちが成長しても「ここが自分の居場所だった」と思い出せるような、あたたかな地域の拠点を目指してまいります。

ミライカナエル活動サポート事業 収支決算書

(収入の部)

費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
ミライカナエル活動サポート事業 補助金・負担金(千円未満切捨て)	50,000	50,000		
宿題支援等イベント参加費	25,000	15,600	-9,400	夏休み宿題サポート 4000円 親子こうさくWS 4500円 書初めWS 3000円 ベップトークWS 4000円 新学期交流会 100円
団体拠出金	3,000	1,397	-1,603	
合計	¥78,000	¥66,997	¥-11,003	

(支出の部)

補助金 充当先	費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
○	使用料	29,750	17,580	-12,170	市民の家使用料 (ホール390円×22回8580円 和室200円×45回9000円)
○	保険料	14,000	7,280	-6,720	イベント保険 1回560円×13回 (連日開催の場合は、 1回分として計算される)
○	印刷製本費	6,250	7,665	1,415	団体概要チラシ 800部 1925円 書き初めWS 150部 1845円 ベップトーク 200部 1875円 新年度交流会 120部 2020円
○	消耗品費	15,000	28,472	13,472	プリンターインク 13280円 文具 2220円 遊び道具 6205円 食材 2004円 事務用品 1333円 備品印刷代 3100円 その他備品 330円
	謝金	5,000	6,000	1,000	
	業務委託費	8,000	0	-8,000	HP等作成委託
	合計	¥78,000	¥66,997	¥-11,003	

※ 収入の部、支出の部の合計が一致するように作成してください。

別紙（第 8 号様式「 7 経過と内容」）

事業名	ジャグリング体験会拡充事業
団体名	湘南大道芸
1. 事業目的	
藤沢市で暮らす子ども達とその家族が、ジャグリング体験を通じて、新たなことに挑戦する精神を育てる機会を提供すること。	
2. 事業概要	
① 毎月第 2 土曜日に辻堂駅北口の神台公園で開催している「ジャグリング体験会」をより良くするための道具の充実 ② 広報活動を強化して、児童館や地域子どもの家等で教室を開催する新規開拓を行う。	
3. 成果目標	
（1）神台公園での体験会の開催 ・会員が指導にあたり無料ジャグリング体験会を開催 （2）各種イベント会場での広報活動の実施 ・イベント会場内でジャグリング体験会を開催 ・イベントでジャグリング体験した方にチラシを配布 ・伴走支援を活用して近くの公共施設等にチラシを配架 ・出張ジャグリング体験会を市内 5 ヶ所の児童館のうち 2 ヶ所、23 ヶ所の地域子どもの家のうち 3 ヶ所で開催	

4. 成果目標に対する結果

(1) 神台公園での体験会の開催

毎月第二土曜日に辻堂駅北口の神台公園で、会員が指導にあたり無料ジャグリング体験会を7回開催した。

広報ふじさわをはじめ、市役所でのポスター掲示やデジタルサイネージを見てきてくれた方、イベントでチラシを渡した方、そして公園に遊びに来ている親子等、たくさんの市民の方達に楽しんでもらった。

<体験会結果>

8月 9日 皿回しの世界チャンピオンによる皿回し教室を開催
[参加人数：のべ 50人]

9月13日 普段の体験道具に加えて、けん玉教室を開催
[参加人数：のべ 80人]

<10月は、雨のため中止>

11月 8日 公園でイベントが開催されていたため多数の参加者あり
[参加人数：のべ 150人]

12月13日 メンバーが分散し、イベント出演と同時刻に開催
[参加人数：のべ 60人]

1月10日 横浜ジャグリング団体から参加された方あり
[参加人数：のべ 20人]

2月14日 補助金で購入したディアボロを使ったディアボロ教室開催
[参加人数：のべ 40人]

3月14日 藤沢市公式LINEや広報ふじさわを見て参加者あり
[参加人数：のべ 120人]

※当日の天候などで単純に参加人数の変化は比べられませんが、確実に神台公園体験会に来てくれる参加者は増えております。

※参加リピート率も上昇しています。

※今後も神台公園での体験会は、無料で継続して実施します。



【補助金で購入したディアボロ 40 個】

(2) 各種イベント会場での広報活動の実施

- ・ イベント会場内でのジャグリング体験会の開催
集客力のある大型イベントに参加し、その会場内でジャグリング体験会を開催して神台公園に来ていただけるよう広報活動を実施した。

<体験会開催結果>

- 9月14日 日枝神社例大祭：皿回し体験会を開催（平塚）
- 9月27日 藤沢市民まつり：有料ジャグリング体験会を開催
- 10月 5日 TSUJIFES2025 秋：皿回し・フープ体験会を開催
- 12月 6日 MINTOMO 交流会：ジャグリング体験会を開催
- 12月13日 湘南台わくわくフェスタ：皿回し体験会を開催
- 2月14日 ふじさわトリプル成人式：ジャグリング体験会を開催
- 3月29日 ここでくらっそ ジャグリング体験会を開催

※イベントで体験したジャグリングを、もう一度やってみたくて神台公園の練習会に来てくれる方もいたことから、大規模イベントでのジャグリング体験会開催は功を奏していると思われます。

- ・ イベントでジャグリング体験した方にチラシを配布
イベントでジャグリング体験した方や、会員が参加した活動団体講習会や市民活動セミナー等にてチラシを約 200 枚配布した。
また、藤沢市民まつりでは、市民活動支援ブース「ふじさわ NPO 横丁」に参加して、ブース内で周知啓発活動を実施した。
さらに、さまざまな市民団体を知ってもらうことを目的とする市民活動推進センターが主催するパネル展示（湘南台駅地下）と、デジタルサイネージ（藤沢駅地下）に参加し、そこからイベント出演依頼があり普及活動が広がった。
市外では、コミュニティーFM の FM 湘南ナパサ（78.3MHz）平塚に出演し、湘南大道芸メンバー募集を行い、ジャグリング経験者が加わった。

- ・ 広報支援を活用して近くの公共施設等にチラシを配架
広報支援を活用して、青少年施設・地域子どもの家・児童館・体育館・学童・市民センター・公立小学校に約 80 枚配布した。市民活動推進センターや市民センターにもチラシを約 50 枚配架した。
また、市民自治推進課が開催するパネル展示（藤沢市役所）と、デジタルサイネージ（藤沢市役所）に参加し、コミュニティーFM のレディオ湘南（83.1MHz）に出演し、そこからイベント出演依頼があり普及活動が広がった。

※広報ふじさわや大型模造紙でのパネル展示、Instagram やチラシを見て、神台公園の体験会に来てくれる参加者もいることから、徐々に広報活動の効果が表れています。

- ・出張ジャグリング体験会を開催できるよう調整

<出張ジャグリング体験会結果>

湘南大道芸として単独開催のジャグリング体験会は、児童館と地域子どもの家では施設の予算関係で目標としていた開催はできませんでしたが、学童2ヶ所（やまびこ児童クラブ・わんぱく児童クラブ）で開催することができました。また、令和8年度には市民センター2ヶ所（6月に六会市民センター・7月に湘南大庭市民センター）からの講師依頼があり、ジャグリング教室の開催が決定しています。

5. 実施した事業の内容・時期

年 月	実施内容
【神台公園での体験会結果】	
2025 年 8 月 9 日	【第1回体験会】 参加人数：のべ50人 皿回しの世界チャンピオンをゲストに迎えて、チャンピオンによる皿回し教室を開催した。  
9月13日	【第2回体験会】 参加人数：のべ80人 コマが特技の児童が遊びに来てくれたので、普段の体験道具以外の「けん玉教室」を開催した。



< 10月は、雨のため中止 >

11月 8日 【第3回体験会】参加人数：のべ 150 人
「いちの市」というイベントが開催されていたため
公園内に人が多く、たくさんの参加者がありました。





12月13日

【第4回体験会】参加人数：のべ60人

体験会と同時刻に湘南 T-SITE「Christmas Market」でのステージ出演だったため、湘南大道芸メンバーが体験会とイベントに分散して同時開催をした。



2026 年

1 月 10 日

【第5回体験会】参加人数：のべ 20 人
横浜のジャグリング団体メンバーが参加されたため、
団体交流しながら体験会を開催できた。



2 月 1 4 日

【第6回体験会】参加人数：のべ 40 人
補助金で購入したディアボロで教室を開催した。
自分で購入したディアボロを持参した児童もいた。





3月14日

【第7回体験会】参加人数：のべ 120 人

藤沢市公式 LINE や広報ふじさわを見て参加してくれた児童もいて、あたたかくなってきたこともあり、かなり賑わっていた。

（子ども達より、大人が夢中になっていた。。。）





※ 令和7年度は毎月1回、雨天時を除き開催できた。
 ※ 今後も体験会は、無料にて継続します。

【各種イベント会場での広報活動結果】

2025 年
 9月14日

日枝神社例大祭：皿回し体験会を開催



9月27日

藤沢市民まつり

秋葉台会場：有料ジャグリング体験会を開催
「体験会の有料化」という挑戦



9月28日

藤沢市民まつり

藤沢駅会場：「ふじさわ NPO 横丁」に出店



10月 5日

TSUJI FES2025 秋：皿回し・フープ体験会を開催



10月26日 藤沢市民まつり「湘南台ファンタジア 2025」



11月 1日 シーテラス オープニングイベント



11月 9日 湘南台駅地下アーツスクエアパネル展示
(パネルの展示は 10/25～11/9)
パネル展示最終日のトークイベントに参加



12月 6日

MINTOMO 交流会：ジャグリング体験会を開催



12月13日

湘南 T-SITE 「Christmas Market 2025」

12月14日



12月13日

湘南台わくわくフェスタ：皿回し体験会を開催



2026 年
2月14日

ふじさわトリプル成人式：ジャグリング体験会を開催



3月18日 湘南台駅地下アーツスクエア「卒フェス」



3月25日 児童クラブ「ジャグリング教室」

- ・わんぱく児童クラブ（大鋸地区）
- ・やまびこ児童クラブ（大鋸地区）



※ 児童の顔写真は、児童クラブ外に掲載できません

3月29日 ここでくらっそ 有料ジャグリング体験会を開催



TVK「猫のひたいほどワイド」

年 月	実施内容
【その他の広報・周知活動結果】	
	★チラシ作成・送付・データ送信・配架 ・青少年施設：3箇所 ・地域子どもの家：18箇所 ・児童館：5箇所 ・体育館：3箇所 ・学童：84箇所 ・市民センター：16箇所 ・公立小学校：35箇所 ・市民活動推進センター：2箇所 ・市子ども会育成連絡協議会：25子ども会 ★市民まつり市民活動支援ブース：ふじさわ NPO 横丁 ★パネル展示：湘南台駅地下・藤沢市役所 ★デジタルサイネージ：藤沢市役所・藤沢駅地下 ★ラジオ出演： ・レディオ湘南 ・FM 湘南ナパサ ★Instagram：フォロワー数 71 名⇒128 名

6. 事業を実施して見えてきた課題

事業を実施してみて分かった課題は、次の9点です。

- **道具は揃ったが、メンバーが足りていない**
補助金で道具（ハード面）は準備できましたが、運営を支えるメンバー（ソフト面）がまだ少なく、活動が続けるのが大変だと感じました。
- **ボランティア集めの難しさ**
チーム FUJISAWA2020 でボランティア募集を使ってみましたが、ジャグリングという少し特殊な活動だったためか、なかなか思うように人は集まりませんでした。
- **「体験会参加」から「仲間」への壁**
体験会に来てくれる人は増えましたが、そこから「一緒に運営するメンバー」になってもらうための工夫が足りませんでした。
- **福祉の分野へのアプローチ**
障がいを持つ児童も楽しんでくれたことから、もっと福祉や介護の施設へ広めていきたいのですが、まだその繋がりが弱いです。
- **教え方のコツを言葉にする**
障がいを持つ児童へ教える際、感覚だけでなく、誰もが分かりやすい「教え方のコツ」をまとめる必要を感じました。
- **「ジャグリングの良さ」の伝え方**
単なる遊びと思われがちですが、集中力を養うなどの「教育的な効果」と「療育的なプログラム」をもっと分かりやすく伝えていく必要があると感じました。
- **場所によるニーズの違い**
藤沢市内の地区によって、住んでいる方の反応や求めているものが違うと感じ、場所に合わせた工夫が必要だと感じました。
- **保護者や高齢層の巻き込み**
子どもだけでなく、付き添いの保護者の方にも運営を手伝ってもらえるような工夫を考えたいです。
- **活動継続のための収益モデルの検討**
活動を長く続けるために有料化の一步は踏み出しましたが、長期的に道具のメンテナンスなどを払い続けるための、無理のない参加費の設定を再検討が必要です。

7. 事業に対する自己評価・感想

今回のミライカナエル活動サポート事業を通じて、サークル運営に対する根本的な考え方が大きく転換しました。

「サークル活動費は持ち出しでするもの」「自腹を切って貸出道具を揃えるのが当たり前」と思っていたのですが、これまでのこれらの思い込みを打破できたことが、今回の最大の成果で、サークル活動の持続可能性が飛躍的に向上したと思います。

特に「体験会の有料化」という新たな挑戦は、大きな転換点となりました。いままで無料で行うのが当たり前だと思っていた体験会を有料化することには勇気が必要でしたが、審査会でのご意見「ジャグリング教室を目指すのであれば、少額でも参加費をいただくことが相応しいと感じます。」この一言でサークルメンバー全員の気持ち切り替わり、思い切って一歩を踏み出したことで、運営の景色が劇的に変わりました。

有料化にすることにより懸念していた体験会参加者の人数の減少はなく、むしろ調達した資金で高品質な団体紹介チラシを作成できたことで、毎月の体験会参加者の増加という具体的な成果に繋がったと感じています。

また、作成したチラシは、ジャグリング体験会や市民活動セミナー等で約200枚を手渡ししたほか、本事業の伴走支援制度を通じて公立小学校や児童館、地域の拠点など計160ヶ所へアプローチすることができました。いままで実施していなかったチラシ配り、広報ふじさわや藤沢市公式LINE等の公的な制度をお借りて周知した結果、新しい仲間が増えたことは大きな自信になりました。

その反響は想像以上で、湘南大道芸インスタグラムのフォロワー数も7ヶ月で71名から128名（約80%増）に、なんと57名の増加があり、会員メンバーも一気に1.5倍の24名に増え活動の輪がどんどん広がっています

かつては「持ち出しが当たり前」と考えていた我々が、市民活動推進委員会でのアドバイスや市民自治推進課主催の伴走支援講座「団体運営のポイント」に出会ったことで、組織づくりや資金調達の本質を学び、サークルのあり方を大きく変え、意識改革を行うことができました。

「我々の技術や技を提供し、良い活動のために正当な対価をいただき、それをさらなる活動に投資する」という運営スタイルに、勇気を持って変えた経験は、言葉にできないほどの達成感で、今後の活動においても大きな自信になると確信しています。

他団体のように補助金をイベント事業費に充てるのではなく、補助金を貸出道具購入に充てることにより、補助金で購入した貸出道具の充実が、広報活動で集まった新規参加者を即座に受け入れる器となり、体験から入会へのスムーズな導線を作ることができました。本事業の伴走支援があったからこそ、単なる「イベント実施」に留まらず、「持続可能な組織づくり」へ一歩踏み出せたことを深く感謝しております。

この経験は、これからのサークル発展に向けた確かな手応えとなり、新メンバーと共に、さらに楽しいサークルにして、活動を持続させていける自信となりました。

8. 3年後に叶えたいミライ（ビジョン・取り組み・成果目標）

【3年後に叶えたいミライ（ビジョン）】

障がいを持つ子どもを含めた、将来の藤沢を担うすべての子ども達が、ジャグリングを通じて、自信と集中力を育める社会をつくる。

（障がいを持つ子も持たない子も、藤沢の子ども達がジャグリングを通じて「できた！」という自信を持てる場を作ります。）

【成果目標】

① 療育ジャグリングの定例化

市内の障がい児支援施設等と連携し、年間6回（2ヶ月に1回）「ジャグリング・セラピー」を定期的に行います。

② 会員数の拡大

運営を支えるメンバーを現在の24名から40名に増やし、市内全域へ講師派遣ができるようにします。

【目標を達成するためのこれからの取り組み】

<2026年度：福祉やリハビリへのチャレンジ>

「ジャグリング・セラピー」の企画と実施

体験会で障がいを持つ子が驚くほどの集中力を見せてくれた経験を活かし、福祉の専門家のアドバイスをもらいながら、心や体のケアに役立つ「ジャグリング遊び」のメニューを作ります。

【実施目標回数：年3回】

<2027年度：活動の輪を市内に広げる>

「誰もが主役になれる体験会」を市内のあちこちで実施

これまでの経験を活かし、藤沢市の北部・中部・南部など、いろいろな地域の公民館や児童館でも定期的にジャグリングができる機会を作ります。

【実施目標回数：年4回】

「教え上手なメンバー」の育成

教えてほしい！という声に応えるため、メンバー向けの特別練習会を開きます。特に、障がいを持つ児童生徒への接し方などを専門家から学び、障がいを持つ子どもを含めた、将来の藤沢を担うすべての子ども達みんなが安心して参加できる環境を作れるリーダーを育てます。

【目標：教え上手なリーダー 5名育成】

ミライカナエル活動サポート事業 収支決算書

(収入の部)

費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
ミライカナエル活動サポート事業 補助金・負担金(千円未満切捨て)	50,000	50,000		
団体負担金	930	650	-280	
体験会参加者負担金	0	10,200	10,200	参加者負担金
イベント物販料	0	11,200	11,200	キャラクター販売金
イベント出演料	0	4,000	4,000	イベント出演謝礼
合計	¥50,930	¥76,050	¥25,120	

(支出の部)

補助金 充当先	費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
○	貸出道具購入費	48,400	64,000	15,600	ディアボロ代 (1,600円×40個)
○	印刷製本費	2,530	4,510	1,980	チラシ印刷代 (カラー220枚)
	保険料	0	7,540	7,540	スポーツ安全保険掛金
	合計	¥50,930	¥76,050	¥25,120	

※ 収入の部、支出の部の合計が一致するように作成してください。

別紙（第 8 号様式「 7 経過と内容」）

事業名	おとあそび楽団
団体名	おとあそび楽団
1. 事業目的	
本事業は、ジャズやポップスを基盤とした現役ミュージシャンと生演奏や参加型のプログラムを通して、子どもたちの自由な発想と想像力を育み、音楽の楽しさを世代を超えて共有することを目的とする。	
2. 事業概要	
子どもも大人も一緒に参加できる体験型の生演奏イベントを開催し、リズムあそびやオリジナル紙芝居を通して、学校の授業とは違った角度から音楽が身近になるきっかけとなるような自由な表現を楽しむ場を創造する。	
3. 成果目標	
定期コンサートを年 3～4 回開催し、各回 15～20 組(30～50 名)の参加を目指す。2025 年度は延べ 200 名以上の参加を目標とし、地域に根ざした音楽体験の場として認知度向上を図る。長期休暇を含む幅広い時期に実施し、参加しやすい環境でより多くの子どもたちに創造力や表現力を育む機会を提供。藤沢の音楽文化の担い手としての認知を確立し、将来的な野外交流イベントの実現を目指す。	
4. 成果目標に対する結果	
定期コンサートを 3 回(計 5 公演)、およびクリスマスイベントを実施した。定期コンサートには延べ 157 名が参加し、クリスマスイベントの来場者は約 50 名。当初目標であった 200 名を達成することができた。また、クリスマスイベントでは地域で活動する飲食店や楽器作りワークショップなど計 6 店舗に出店いただき、音楽体験に加えて地域交流の場を創出した。これにより、音楽を軸としながらも多世代・多分野が関わる新たなコミュニティ形成のきっかけを生み出すことができた。	

5. 実施した事業の内容・時期	
年 月	実施内容
2025 年 8 月	9 月の定期コンサートに向けた準備。 チラシ・パンフレット・ステッカーの制作。 オリジナル楽曲・紙芝居の制作。  
2025 年 9 月 23 日	定期コンサート「秋の市民センターツアー！～鵜沼市民センター編～」を開催。 会場：鵜沼市民センター ホール 参加者：午前の部 41 名 / 午後の部 17 名 実施内容：オリジナル紙芝居やオリジナル楽曲を初披露。「リズムで世界旅行」やクイズ形式の「メロディー

かくれんぼ」など独自のコンテンツの他に、秋の童謡メドレーや「手のひらを太陽に」など、みんなで歌える楽曲も演奏。

パンフレットをぬりえ仕様にし、待ち時間に子どもが飽きないようぬりえコーナー・折り紙コーナーも設置。



【広報・周知活動】

- ・チラシ配架：市民センター・保育園・子どもの家・児童館など計 8 箇所
- ・すぐる・藤沢市 LINE セグメント配信

2025 年 11 月 22 日

定期コンサート「秋の市民センターツアー！～新村岡市民センター編～」開催

会場：新村岡市民センター むらおかえのでんホール

参加者：午前の部 46 名 / 午後の部 15 名

実施内容：前回反応のよかったプログラムは残しつつ、高学年向けだった「メロディーかくれんぼ」をカット・メドレーも飽きないように再構成するなど、内容をブラッシュアップした公演を行った。





【広報・周知活動】

- ・チラシ配架：市民センター・保育園・児童館・市民の家など計 18 箇所
- ・すぐーる 5 校・藤沢市 LINE セグメント配信

2025 年 12 月 21
日

「おとあそび楽団とクリスマスマーケット」開催

会場：鵜沼海岸 85furniture

出店数：6 店舗

来場者数：約 50 名

実施内容：音楽ライブだけではなく、楽器作りのワークショップや飲食・物販など、地域で活動されている店舗の皆さんに協力していただき、子どもも大人も楽しめるクリスマスならではのフリーイベントを開催。ライブは計4セット実施。みんなで歌えるクリスマスソングを中心に、「世界のクリスマスを覗いてみよう！」というオリジナル紙芝居を披露した。



おとあそび楽団 のクリスマスマーケットへようこそ!

クリスマスは、みんなといっしょにクリスマスソングを歌える大切な季節。このチャンスをつかいたくないおとあそび楽団は、ひらめきました。

—そうだ、クリスマスマーケットをひらこう!—
楽器をつくるワークショップ、あま〜くておいしいおかしのおみせ…
大切なひとに贈りたいプレゼント
そしてステージではおとあそび楽団と
スイングジャズバンド「メロートーン・バーディーズ」のセッション!
ジャズのリズムにのってクリスマスソングを歌うみんなの歌声。
おとあそび楽団の考える最高のハッピーなクリスマスコンサートがいまはじまります!

MUSICIANS

【おとあそび楽団】
湘南に住むミュージシャン
小林夕夏と藤澤友希による音楽プロジェクト。
ポップスやジャズをルーツに活動する2人が
「子どもの頃にしてみたい音楽体験を子どもたちへ」
をテーマに活動的なアイデアと
様々なジャンルのミュージシャンを
巻き込み展開しています。
音楽がはじめての子も、だいすきな子も
ちょっと苦手な子も
“はじめのいっば”になるおとあそび体験を。
大人の皆さんもどうせいっしょにお楽しみください!

SHOWTIME

①12:00 ~ ※各回15分前入場
ご参加されている方を
優先でご案内いたします
②13:15 ~ 観覧ご予約フォームはこちら
③14:30 ~
④15:45 ~

STORE

楽器づくりワークショップ
おいしい食べもの
スイーツ・雑貨
and more!!
出店者の詳細は
Instagramをチェック!

会場「85furniture -wood work garage-」
〒251-0037
神奈川県藤沢市鵜沼海岸7-17-20
小田急線鵜沼海岸駅から徒歩5分
(駐車場、駐輪場なし)

おとあそび楽団HP Instagram



【広報・周知活動】

- ・ 藤沢市 LINE セグメント配信
- ・ チラシ配架(鵜沼市民センター)

2026 年 3 月 29 日

定期コンサート「春の市民センターコンサート～六会編～」

会場：六会市民センター ホール

参加者：38 名

ボランティア：5 名

実施内容：新プログラムとして、その場で言葉を出し合
ってその日だけのドレミの歌を完成させる「今日のドレ
ミ」を実施。童謡「にじ」では、親御さんも一緒になっ
て歌ってくれて会場が一体になり、改めて音楽の素晴ら
しさを感じることができた。また、湘南工科大学ボラン
ティアサークル「ウミソコ」の皆さんに協力していただき、マイクロプラスチックを使った打楽器づくりのワー
クショップを行い、音楽やものづくりを通して環境問題
に興味を持つきっかけ作りを行った。

おとあそび楽団

プロミュージシャンによる
参加型の生演奏や
観望型に演奏をつける新感覚楽しみ聞かせ

開演するまであそべるスペースや
楽器作りワークショップも！



春の市民センターコンサート～六会編～

2026年3月29日(日)

主催：おとあそび楽団
開場 10:30/開演 11:30
※40分程度の内容です

【演奏予定曲】
リズムで世界旅行
みんなでつくる！ドレミのうた
手のひらを太陽に
など

料金：大人も子どもも、お一人さま 500円
オリジナルステッカープレゼント！
(定員110名)

会場：六会市民センター 3階 ホール

同時開催！
「マイクロプラスチックで楽器を作ろう！」
海に漂っているマイクロプラスチックを使って
シェイカー(打楽器)を作る
ワークショップです。

開演～開演まで自由参加
定員：110名
予約不要 / 参加費 100円
※数に限りがあります。

※ペットボトルなど、
蓋ができる透明な空き容器を
ご持参ください。(小さくてもOK！)

問い合わせ先
otoasobigakudan@gmail.com



ご予約はこちらの2次元コードから！





【広報・周知活動】

- ・ すぐーる 3 校・藤沢市 LINE セグメント配信
- ・ 広報ふじさわ

	※パーカッションの購入も行ったが、楽器の寄付をしていただく機会も多く、当初の予定よりも少ない数の購入に留まった。
--	---

6. 事業を実施して見えてきた課題

- ・予約後の無断キャンセルが多く、特に新村岡市民センターでの開催時には半数ほどのキャンセルが発生し、運営上の影響が大きかった。参加費を当日支払いとしている点や、参加ハードルの低さが一因である可能性が考えられる。
- ・市民センターのホール予約について、土日の利用枠ほぼ埋まっており、希望する日程での開催が難しく、事業スケジュールの調整に制約が生じた。
- ・機材の搬入・設営・サウンドチェック等、運営負担が大きいことも課題として挙げられる。最終公演ではボランティアスタッフの協力により負担がかなり軽減されたことから、今後の体制づくりが必要と感じている。

7. 事業に対する自己評価・感想

本事業を通して、参加者からの反応は全体的に良好であり、プログラムの独自性についても一定の評価を得ることができたと感じている。体験型の内容やオリジナルコンテンツは他にはない強みであり、もっと周知が広がれば、必要としてくれる方々にしっかり届いていく手応えを得ることができた。

一方で、集客面においては思うように進まない場面もあり、試行錯誤を重ねる必要があった。しかし、その過程で様々な方法を試すことができたことは大きな学びとなった。特にクリスマスマーケットの実施は、今後目指していきたい「場づくり」の方向性を具体的に形にする機会となり、今後の展開に向けた土台となる経験となった。

また、本事業を通して自身の得意な部分と課題の両面を改めて実感することができた。今後は、周囲の力も借りながら、チームとして運営していく体制づくりを進めていきたいと考えている。

8. 3年後に叶えたいミライ（ビジョン・取り組み・成果目標）

【3年後に叶えたいミライ(ビジョン)】

音楽を軸としながら、子どもから大人まで多様な人々が自然に交わる場を継続的に生み出していきたい。地域に開かれた活動として、行政や教育機関・地域イベントからの依頼を受けながら活動の機会を広げ、多くの人にとって身近に音楽を楽しめる環境を育てていくことを目指す。

【成果目標】

- ・行政・教育機関・地域イベント等との連携事業：年間 3～5 件実施
- ・自主企画イベント(野外想定/ステージ+マーケット)：年 1 回開催(来場者 80～150 名規模)

【目標を達成するための今後の取り組み】

〈2026 年度〉

①行政との連携

11 月に藤沢市民センターでの生涯学習事業にお声がけいただいているため、参加者のニーズに応じたプログラムを実施し、満足度の高い機会の提供を行う。合わせて、実施後の振り返りや関係者との対話を通じて、継続的な連携につながる関係性の構築を図る。

②広報および連携機会の創出

制作したリーフレットの配布や SNS の活用により認知の拡大を図るとともに、教育機関や地域イベントへの働きかけを行い、実施機会の創出につなげる。

また、口コミによる参加促進も意識し、地域内での継続的な関係づくりを進める。

〈2027 年〉

①行政との連携(発展)

2026 年度に構築した関係性を基盤に、藤沢市民センター等での事業実施を継続するとともに、他の行政機関への展開も視野に入れ、連携機会の拡大を図る。また、参加者や関係者からのフィードバックを踏まえ、プログラム内容のブラッシュアップを行い、より多様な層が参加しやすい場づくりを進める。合わせて、継続的に実施できる体制づくりを行う。

②自主企画の実施

2026 年度に見直した広報手段を継続・発展させ、SNS や地域媒体、口コミを通じた認知の定着を図る。また、これまでに構築した地域団体や協力者との関係性を活かし、新たな実施機会の創出につなげる。その一環として、開かれた場での音楽体験を提供するため、野外での自主企画イベントの開催を行う。子どもも大人も一緒に楽しめる音楽の場として、地域に開かれた機会の創出を目指す。

ミライカナエル活動サポート事業 収支決算書

(収入の部)

費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
ミライカナエル活動サポート事業 補助金・負担金(千円未満切捨て)	50,000	50,000		
定期コンサート・ワークショップ	120,000	78,500	-41,500	大人も子どもも1名 ¥500(9/23:58名・ 11/22:61名・ 3/29:38名)
クリスマスマーケット出店料	0	14,000	14,000	ワークショップ・物 販4店舗(¥2,000)、 飲食2店舗(¥3,000)
クリスマスコンサート参加者	70,000	0	-70,000	会場・内容等変更 となったのでなし
団体拠出金	14,200	1,609	-12,591	
合計	¥254,200	¥144,109	¥-110,091	

(支出の部)

補助金 充当先	費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
	謝金	75,000	45,000	-30,000	
○	消耗品費(1)	20,000	4,841	-15,159	パーカッション購入費
○	消耗品費(2)	10,000	8,858	-1,142	紙芝居用紙・コピー 代・会場内装飾・ワーク ショップ材料費等
○	印刷製本費	8,000	14,620	6,620	9/23用1000部・11/22用 300部・12/21用100部・ リーフレット500部
○	販売促進費	12,000	23,170	11,170	ノベルティステッカー(デ ザイン・印刷代込み)
	使用料(1)	7,200	7,600	400	9/23(1000円×3枠)・ 11/22(1000円×3枠)・ 3/29(800円×2枠)
	使用料(2)	32,000	14,000	-18,000	クリスマスマーケット会 場使用料
	使用料(3)	50,000	3,100	-46,900	多目的室2(100円×2 枠)・ホール(800円×2 枠)・多目的ホール(1000 円×1枠)・学習室1(300 円×1枠)
	賃借代	40,000	22,420	-17,580	YAMAHA STAGEPAS(ポータブル PAシステム)・マイク・マ イクスタンド
	交通費		500	500	11/22 駐車場代
	合計	¥254,200	¥144,109	¥-110,091	

※ 収入の部、支出の部の合計が一致するように作成してください。

別紙（第 8 号様式「 7 経過と内容」）

事業名	せっけんでまち洗い
団体名	藤沢市せっけん推進協議会
1. 事業目的	
市民に、人と環境にやさしい洗剤「せっけん」の使用を推進する。 人体にやさしく、排出しても負荷が少なく環境にもやさしい特性を持った安全安心なせっけんを広め、命と水を守り環境都市ふじさわを実現する。	
2. 事業概要	
市民にせっけんの優位性を伝えるため、せっけんを使った市民参加のまち洗いイベントを行う。市民や市職員向けに資料を用いて学習会やワークショップを行う。	
3. 成果目標	
①まち洗いイベントで、藤沢市のせっけん推進活動を周知する人を増やす。 市民の 1 割（4 万人/40 万人）に認知されることを目標とする。（市民センターまつり等での出展時にアンケート調査で 1 割以上の周知を目標にする） ②藤沢市でのせっけんの取り組みを各所属でも自発的に発信し市民への周知の機会を増やす。 ③市民が身近にせっけんを知る機会の提供をし、生き物や環境にやさしい藤沢市を実現する。	
4. 成果目標に対する結果	
①藤沢市のせっけん推進活動を周知する人を増やす。市民の 1 割（4 万人/40 万人）に認知されることを目標とする。 →市民センターまつり等での出展時にアンケート調査 2025.10~2026.3 までの期間にとった集計で、136 人の方から回答を得られた。アンケートの結果、せっけん推進活動を以前から知っていた方が 2 割未満であったが、「今知った」という回答	

が半数を占め、せっけんアンケートを行うことで「藤沢市のせっけん推進活動を知る」きっかけとなった。

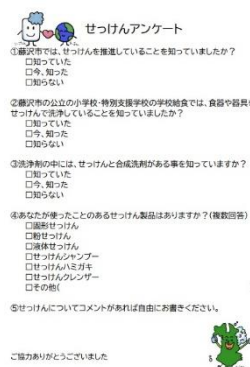
②藤沢市でのせっけんの取り組みを各所属でも自発的に発信し市民への周知の機会を増やす

→自発的な発信には至らなかったが、行政と共に活動をしてきたつもりだが担当者だけが知っていることであったり、その課の直接の業務目標から少し離れることであったりするかもしれない。市民センター等の調理室清掃に協力するなど、直接関連する内容にアプローチの仕方を変えていくことが必要。

③市民が身近にせっけんを知る機会の提供をし、生き物や環境にやさしい藤沢市を実現する。

→藤沢市で40余年のせっけん推進活動が市民に浸透していないことが課題であった。本事業の「せっけんでまち洗い」「せっけん学習会」関連事業を通じて、広報ふじさわ掲載（3回）、藤沢市公式LINE（3回）、すぐーる配信（2回）、レディオ湘南 市民活動紹介（1回）、タウンニュース掲載（1回）や、市民活動推進センターの広報紙の紹介（1回）、市民活動紹介展示（2回）・発表（2回）を通じて、せっけん推進活動を広く市民に向けて知らせることができた。せっけん推進活動の周知の効果測定にもなるせっけんアンケートの実施（回答数136）をした。

5. 実施した事業の内容・時期	
年 月	実施内容
2025 年 8 月	・「せっけんでまち洗い」協力者との打合せ 湘南台文化センター（8/25）、藤沢市消防局（9/10） （市民自治推進課） 内容：事業の内容、協力依頼 ・会員、関係機関、せっけんメーカーなどへ協力依頼
2025 年 9 月	・「せっけんでまち洗い」案内チラシ作成 市民センター等市内各所へチラシ配架 （市内約 40 ヶ所に 435 部） 当団体関係各所等へ配布(1,500 部印刷)
2025 年 10 月	・三者打合せ（10/16） 参加：湘南台文化センター、藤沢市消防局、（市民自治推進課） 内容：事業の流れ、役割分担等の確認 ・広報活動 広報ふじさわ 10/10 号掲載 藤沢市公式 LINE 配信(湘南台地区) すぐーる配信(近隣 6 校) 記者クラブへの持ち込み ・「せっけんアンケート」開始 市民センターまつり、学習会などへの 参加者向け
2025 年 11 月	・「せっけんでまち洗い」実施 2025.11.2（日） 11：30～12：30 参加者 19 人 内容：①せっけん学習会 参加者は 19 人と限られた人数であったが、申込開始直後に申し込まれた方が多く、関心の高さがあった。 湘南台文化センターのせせらぎ広場を会場とし、始めに湘南台



市民センターのホールに集合し、事前にミニせっけん学習会を行った。せっけんと合成洗剤の違いなどを説明した。

②せっけんでまち洗い

まち洗いの会場に移動し、大人も子どもも協力して共にバケツリレーでせっけん水を撒き、たわしでゴシゴシ洗い、まち洗いを実施した。

藤沢北消防署の協力で、消防士さんの放水で洗い流しまち洗いを終了。

③アンケート

せっけんアンケート、せっけんでまち洗いアンケート

④シャボン玉遊び

まち洗い終了後、参加者や通りがかりの方にもシャボン玉遊びをしてもらった。

感想：子ども達はやる気まんまんで参加していた。消防の放水はなかなか間近で見ることかないので子どもも大人も真剣に見ていた。参加者以外の通りがかりの市民にもいろいろ聞かれ、興味をもってもらった。多くの市民にむけ「せっけん」のPRになった。

「せっけんでまち洗い」参加者アンケート 集計

せっけんでまち洗いアンケート



①事前学習はいいがでしたか？

- ☐よくわかった
☐わかった
☐わかりにくかった
☐わからなかった
☐その他()

②せっけん学習パンフレットはいいがですか？(複数回答)

- ☐読んでみたい
☐他の人にも見せたい
☐夢中になりそう
☐のかりにくい
☐その他()

③まち洗いはどうでしたか？

④次にまち洗いのイベントがあったら参加したいですか？

- ☐参加したい
☐その他()

⑤その他、感想など聞かれましたらご記入ください

ご協力ありがとうございました



2025 年 12 月

せっけんまち洗いアンケート集計 (2025.11.2)

①事前前学習はいかがでしたか？

よくわかった 42%
わかった 50%
わかりにくい 8%
その他

②せっけん学習パンフレットは
いかがですか？

読んでみたい 42%
他の人にも見せたい 42%
参考になりそう 16%
わかりにくい
その他

④次も参加したい
ですか？

参加したい 100%
その他

②まち洗いはどうでしたか？

- *楽しかった
- *子供も楽しく活動できました。ありがとうございました。
- *楽しかった
- *とても楽しかった
- *とても良いイベントだと思いました。
- *楽しかった。もっと洗いたかった。
- *もっと洗いたかった
- *楽しかったです。
- *楽しかった。他のところも洗いたかった。
- *ゆるっと楽しめてよかったです。
- *楽しかったです。もっとたくさん洗いたかったです。

⑤その他、感想などありましたらご記入ください

- *もっとせっけんを活用した方がいいと思いました。
- *地道な活動を長年に渡り行っておられ願が下がります！
- *ありがとうございました。もっと大きなイベントにしたいです。
- *市内のあちこちを子供達と一緒に綺麗にしたいです。子供達も『自分が街をきれいにした』と思えていいのではないかと思います。

・ 市民活動紹介

広報ふじさわ 11/25 号に掲載



・ 「せっけん学習会」案内チラシ作成

市民センター等市内各所へチラシ配架
(市内約 40 ヶ所に 440 部)

当団体関係各所等へ配布(1,500 部印刷)

・ 広報活動

広報ふじさわ 12/25 号

藤沢市公式 LINE 配信 1/16

すぐーる配信 (全 55 校)

記者クラブへの持ち込み



2026 年 1 月

・「せっけん学習会」実施

2026.1.24(土)10:00~12:00 参加者 34 人

内容: ①せっけん学習会

地球温暖化、地球と自分達、生命と水(海水・真水、水の大切さ、水の3R、水を汚す!?)

洗浄剤について(ブラックライト実験(光る肉まん)、酢の実験、歯磨き剤、学校給食、安全安心・危険不安)

「せっけん学習パンフレット」を使って地球の水の話や、簡単な実験を行い、せっけんと合成洗剤の違いを学習した。中でも、合成洗剤で洗った布巾と、せっけんで洗った布巾を使って肉まんを蒸したものを用意し、ブラックライトを当てる実験をしたが、洗剤の蛍光増白剤成分が移った光る肉まんを見せた時は驚きの声が上がっていた。

②シャボン玉液作り

グループに分かれシャボン玉液づくりワークショップを実施。台所にある材料を使い安全なシャボン玉を作れることを体験した。

③シャボン玉遊び

屋外に移動し、強風で建物の影を使って実施した。見学に来た付添いの保護者にも体験してもらった。

シャボン玉液が手や髪についてしまうお子さんもいたが、せっけん液を使ったシャボン玉液なので安心して使用できた。

④せっけんアンケート、せっけん学習会アンケート(終了後)

学習会会場に戻り、アンケートに回答いただいた。終了後、希望者にはプログラムに入りきらなかった映像を用いた内容もお伝えできた。

感想: まち洗いの会場とは離れた会場ではあったが、すぐーるの



シャボン玉液レシピ

＜材料＞	＜道具＞
液体せっけん 100cc	ボウル(中くらいの大きさ)
砂糖 大さじ1	計量カップ
片栗粉 小さじ1	計量スプーン(大・小)
ハチミツ 小さじ1	立ち上がり
紅茶(出がらし) 500cc	ジョウロ
洗剤飲料 50cc	おたま

＜作り方＞

①、せっけんで洗ったボウルに液体せっけん・砂糖・片栗粉・ハチミツを入れて入れる。

②、①に紅茶 500cc を加えてよく混ぜる。

③、②に洗剤飲料・液体せっけんを加えて泡が立たないように混ぜる。

④、③をペットボトルなどの保存できる容器に移す。

*泡を立てないようにするのがポイント

*2週間ほど経つとシャボン玉が割れにくくなります

配信の効果があったのか、小学生の申込も多かった。

小学生以上としたので、こどもたちだけ、大人がいないグループもあった。ワークショップや、学習パンフレットが小学 3 年生で理解できる内容としたので、小学校 3 年生以下は保護者同伴にすべきだった。親子で聞いてほしい内容だった。

資料として、映像やデータを取り入れると、目で見て感じられた。学習会の映像を記録してみても、参加者から感想をもらった。

最後まで残って下さった方は、しっかりと意識高く聞いてくださった。まち洗いも、学習会にも参加された方も数名いて、参加者の声を直接お聞きすることでもよかった。せっけんについて言葉にする事、それを他の参加者も聞くことが、お互いの理解を深めることになるかもしれない。

「せっけん学習会」参加者アンケート集計

もつとせっけんが好きなせっけん学習会アンケート

①学習会がいかがでしたか？

☐よくわかった

☐わからなかった

☐わからなかった

☐その他 ()

②せっけん学習会パンフレットはいかがですか？(複数回答)

☐読んでみたい

☐他の人にも見せたい

☐郵送にかりそう

☐おもしろい

☐その他 ()

③せっけんシャボン玉遊びはどうでしたか？

☐楽しかった

☐楽しかった

☐楽しかった

☐その他 ()

④次にまち洗いのイベントがあったら参加したいですか？

☐参加したい

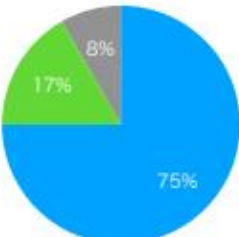
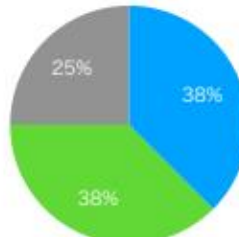
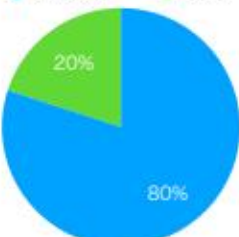
☐参加しない

☐その他 ()

*どこか読みたい書籍はありますか？

⑤その他、感想などがありましたら記入ください

ご協力ありがとうございました

2026 年 2 月	せっけん学習会 (2026.1.24)アンケート集計 ①学習会はいかがでしたか？ ● よくわかった ● わかった ● わからなかった ● その他  ②せっけん学習パンフレットはいかがですか ● 読んでみたい ● 他の人にも見せたい ● 参考になりそう ● その他  ③せっけんシャボン玉液作りはどうでしたか？ ・楽しく学習したことが体験できてよかった。 ・簡単でわかりやすかった。 ・楽しかった。 ・砂鍋やサイダーを使用するのは驚きでした。 ・実験みたいで楽しかった。 ④次にまち洗いのイベントがあったら参加したいですか？ ● 参加したい ● その他  *どこか洗ってみたいところがありますか？ ・石像 ・学校 ・近所の道 ・湘南台文化センターの広場 ・海の壁 ⑤その他、感想などがありましたらご記入ください ・風が強いのにシャボン玉がやれてうれしかった。 ・また来たい。 ・とてもわかりやすく参考になりました。 ・とても勉強になりました。今後はせっけん第一選択で使用したいと思いました。 ・せっけんを広める活動、とても大事だと思いました。可能な範囲で取り入れていきたいです。 せっけん推進活動の広報 ・「せっけん推進活動展示」サーフビレッジ展示コーナー 1/24～3/31 パネル 6 枚使用し、活動展示を行った。 ・市民活動紹介 市役所 1 階ロビー 2/16～2/27 「せっけん学習パンフレット」配架 「せっけんアンケート」案内も掲示 ・市民活動大交流会での活動紹介 2/18 藤沢市民会館第 1 展示ホール 「せっけん学習パンフレット」配布
-------------------	---

2026 年 3 月

・ 期間限定「せっけん学習パンフレット配布」

日程：3/2～3/31

配付場所：藤沢市役所本庁舎 総合案内前ラック（1F）・市民相談
情報課（4F）・市民自治推進課（7F） 藤沢市市民活動推進セン
ター・市民活動プラザむつあい

配布数：合計 150 部

・ 広報活動

広報ふじさわ 3/25 号

藤沢市公式 LINE 3/2 配信

(実質配布数 71 部)

・「せっけんアンケート」

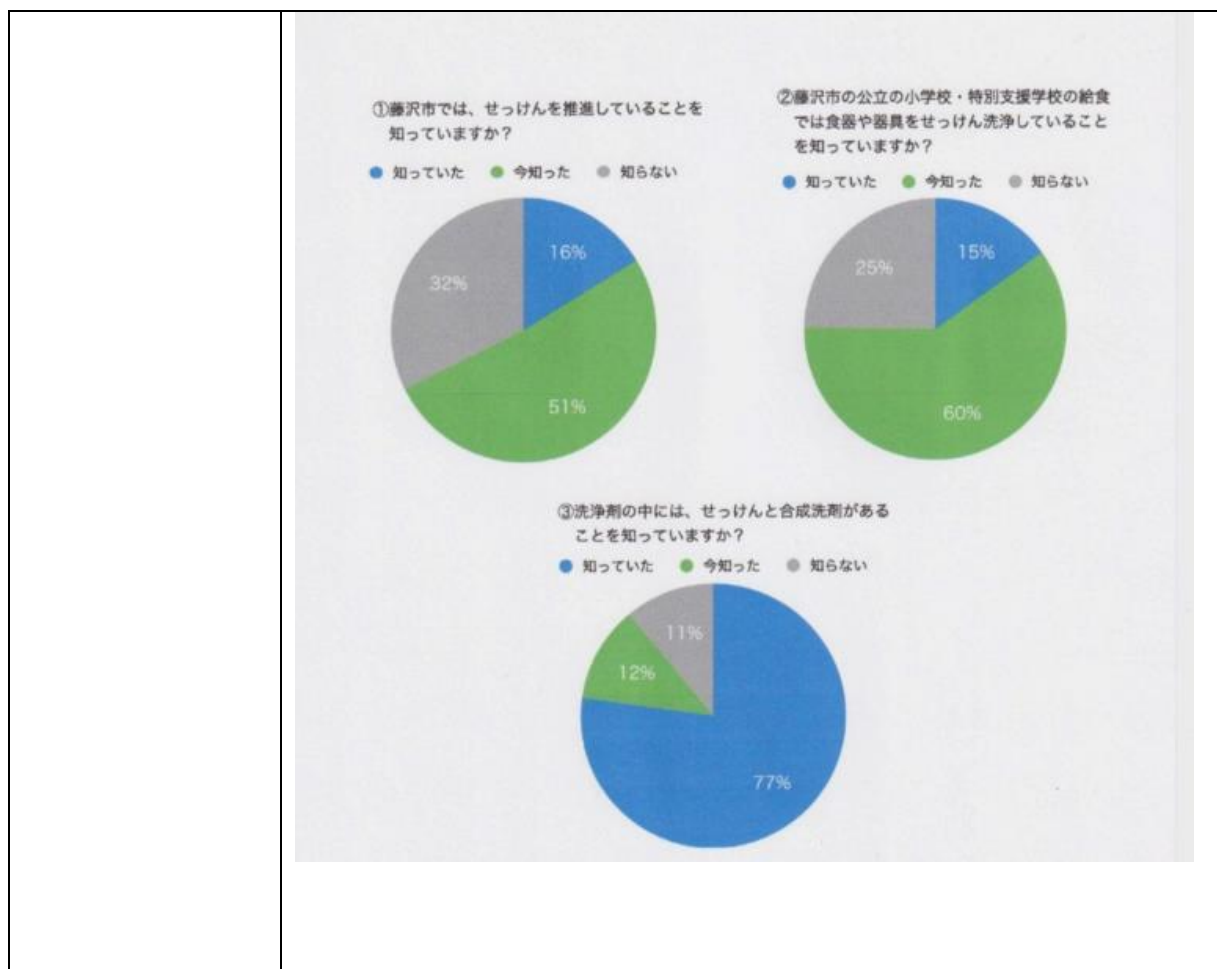
今回のイベントの参加者や、市民センタ
ーまつり等のワークショップに参加の
市民向け、活動報告の掲示物への二次元
コードでアンケートをとった。

市民の中で藤沢市のせっけん推進活動
を知っている方は少数ではあるが、この
アンケートをきっかけに「藤沢市がせっけん推進活動をしてい
る」ことを知ってもらえた。

今後も継続してアンケートを集計し、藤沢市民に向けて、せっけ
ん推進活動を PR していき、その効果測定としたい。

せっけんアンケート集計 2025.10～2026.3 回答数 136





6. 事業を実施して見えてきた課題

せっけん推進活動を 40 年以上も続けていたが、アンケートの結果から、市民への周知不足ということが分かった。今までも藤沢市と共に活動してきていたが、より強固に連携をして市民の健康や環境を守るために、活動していかなければならないことが分かった。

7. 事業に対する自己評価・感想

以前から構想のあった、「せっけんでまち洗い」を実施するためには、行政との協力が不可欠だったため、今回の助成事業に採択され事業が実施できたことは大きな支えとなり、活動の転機となった。

せっけんをつかう楽しさを市民と共有できたこと、せっけん推進活動の周知としては大きな功績になった。

年度途中の 8 月からの実施ということもあり、限られる時間の中で、長年の活動があったから、連携先(市民活動推進機構)等との協力できたと思う。今回の事業実施で、顕著になったせっけん推進活動の認知度を上げるため、

引き続き、「水を守ることはいのちを守ること」をモットーに、人や環境にやさしいせっけん推進活動を継続していきたい。

多くの市民が藤沢市のせっけん推進活動を知っていて、洗剤の違いや、せっけんのよさを知っていること、藤沢市の施設ではせっけんを使用していることをPRしていきたい。

その後で、団体の認知度が高まり、正会員、賛助会員の増加、協賛を見込む。また、行政施設への啓発により、せっけん推進活動の連携がスムーズになり、活動の拡大が期待できる。

今後も、市民への啓発がより浸透するよう、行政との支援協力体制を作り、共感者を増やし、多様な啓発を行っていきたい。他の環境活動、消費者活動団体との情報交換や協働を広げていきたい。

8. 3年後に叶えたいミライ（ビジョン・取り組み・成果目標）

・せっけん推進活動が市民のものになること

藤沢市は海に注ぐ2つの川をたたえ、海を臨み、その環境の良さから移住する市民も多い。環境都市ふじさわとして、人と環境にやさしいまちをつくっていくこと。

「水を守ることはいのちを守ること」をキャッチフレーズに、市民がせっけん推進活動を知っていて、せっけんとその他の洗剤との違いを知り、安全安心な洗剤を自分で選択できること。

取り組み

2026年度

今までの活動を基本に、地道にせっけん推進活動を継続していく。せっけんアンケートの継続(200回答、せっけん推進活動への認知度が7%)。せっけんでまち洗い(1~2回実施)。藤沢市の公共施設への働きかけのために、市民センターの調理室清掃への協力等をする(0→3ヶ所)。

2027年度

今までの活動にまち洗いの実施や公共施設への働きかけにより、せっけんアンケートを継続する(200回答、せっけん推進活動への認知度が10%)。せっ

けんでまち洗い(1~2回実施)。市民センターの調理室清掃への協力等をする(3→6ヶ所)等、藤沢市の全ての公共施設でのせっけん使用協力ができる。せっけん推進活動の全国規模の大会で、藤沢市のせっけん推進活動がおおいに評価されているように「環境都市ふじさわ」の誇れる取り組みとして当団体と行政が共にPRできること。藤沢市の全ての施設でせっけんが使用され、安全安心な生活を行政と共に市民に発信すること。

ミライカナエル活動サポート事業 収支決算書

(収入の部)

費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
ミライカナエル活動サポート事業 補助金・負担金(千円未満切捨て)	100,000	100,000		
参加団体寄付金	10,000	0	-10,000	協賛企業寄付金
団体拠出金	9,400	94	-9,306	
合計	¥119,400	¥100,094	¥-19,306	

(支出の部)

補助金 充当先	費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
○	交通費	10,000	12,862	2,862	
○	消耗品費 ①まち洗い	20,000	9,081	-10,919	たわし¥2,750 デッキブラシ ¥2409 養生テープ他¥2,723 標識テープ¥1199
○	消耗品費 ②学習会	3,000	18,452	15,452	ボウル・計量スプーン¥7675 液 体せっけん¥1,082 シャボン玉 液材料¥6,190 学習会実験用物 品¥505 プロジェクタ貸出¥3,000
○	印刷製本費 ①せっけん学習パンフレット	25,000	34,215	9,215	学習パンフレット¥27,967 セッ けんで子育て¥6,248
○	印刷製本費 ②せっけんで子育て、アンケート	6,000	5,864	-136	せっけんで育てよう(用紙¥2,024 印刷代¥1,070) アンケートコ ピー代¥1,300 学習会資料印刷 ¥1,470
○	広報活動費 ①まち洗い②学習会	10,000	7,992	-2,008	①まち洗いチラシ¥4,115 ②学習会チラシ¥3,877
○	通信運搬費 送料他	8,600	4,096	-4,504	封筒¥2,079 切手¥1,100 FAX¥100 送付用ラベル¥817
○	使用料 ①会場使用料	2,000	600	-1,400	会場使用料¥600
○	保険料 ②ボランティア保険	2,800	2,800		ボランティア行事保険¥2,800
○	雑費 ①駐車場代	25,000	2,700	-22,300	駐車場代¥2,700 (1100+1100+500)
○	雑費 ②ボランティア用給水	7,000	1,432	-5,568	ボランティア給水用ペット茶 ¥1,432
	合計	¥119,400	¥100,094	¥-19,306	

※ 収入の部、支出の部の合計が一致するように作成してください。

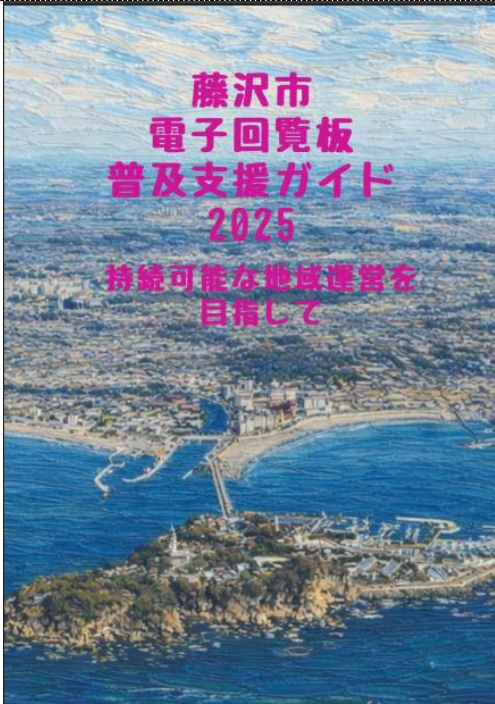
別紙（第10号様式「7 経過と内容」）

事業名	電子回覧板普及支援事業
団体名	特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット
協働相手名	藤沢市 市民自治推進課
1. 事業目的	
自治会・町内会（以下「自治会」という）では、市や市民センターまた自治会から印刷した回覧物が配布され回覧として各世帯へまわしているが、これを電子回覧板として会員に直接配信することを普及支援する。	
2. 事業概要	
電子回覧の調査・研究・資料作成し利便性を知ってもらう相談会を実施する。自治会へ導入に向け相談会と軌道に乗るまでの伴走支援を行い、その内容をまとめ他の自治会に横展開する為のパンフレットを作成する。	
3. 成果目標	
13 地区のセンター（各地区自治連総会等）で、相談会・説明会を紹介し賛同自治会を募ります。	
1 年目は、相談会・説明会を主に活動を行い、2 年目に伴走支援で実施自治会を増やしていきたい。	
相談会・説明会で自治会内部調整いただき年度内実行対応目標 3 自治会以上とします。	
2 年目も相談会・説明会を行うが、伴走支援に力を注ぎ、パンフ作成に向けて、13 自治会ぐらゐの実施経験や過程をレポートしたい。	
4. 成果目標に対する結果	
市民センターでの説明会 6 地区開催 128 自治会（令和 6 年度）	
6 地区開催 100 自治会（令和 7 年度）	
個別相談会参加自治会数 45 自治会（令和 6 年度、7 年度合計）	
電子回覧板開始自治会数 16 自治会（令和 6 年度、7 年度合計）	
LINE 公式アカウント：3 自治会	
LINE オープンチャット：4 自治会	
BAND：8 自治会	

My 自治会：1 自治会 パンフに記載できた、事例自治会数 10 自治会 電子回覧板導入支援ガイド作成 2000 部印刷 普及支援案内チラシ 2000 部印刷	
5. 団体と協働相手の役割分担	
団 体	電子回覧板とは何か、使うことの利点・欠点を含め各種アプリを調査・研究し、インストールから操作方法を講習会・相談会で説明できる資料を作成する。 資料を使い説明会を実施し、電子回覧板を簡単に発信できる事を団体役員に知っていただく。 自治会の質問や個別相談に応じ、自治会に合った仕様のアプリを紹介、役員が利用できるまで伴走支援を行う。 自治会内会員へ講習会・相談会を行い、担当役員と共に伴走支援を行う。 伴走支援等行った結果をまとめて、各自治会に電子回覧板を普及支援するガイドブックを作成する。
協働相手	各自治会役員への広報と参加自治体の募集 各市民センターの談話室の予約と協力 その地域の各自治会へ説明会参加を促し、センターの会場日程の調整 当団体が報告する実施レポートを利用し、広報紙等へ掲載し各自治会に対し電子回覧板の利便性や、その手法を紹介することで電子回覧板運用の機運を高める。 当団体が報告する実施レポートを利用し、ガイドブックを作成し配布する。
6. 実施した事業の内容・時期	
年 月	実施内容
2025 年	
4 月	原町町内会個別相談会
5 月	下土棚西自治会個別相談会 円行四つ辻自治会個別相談会

	片瀬海岸 2 丁目自治会個別相談会 円行四つ辻自治会個別相談会 辻堂新町町内会個別相談会 折戸町内会個別相談会 四谷町内会個別相談会 プラウドシーズン自治会個別相談会
6 月 6 月 9 日 6 月 14 日	市との連絡会議 御所見市民センター説明会 6 団体 9 名参加 村岡市民センター説明会 7 団体 11 名参加 折戸町内会伴走支援 西の原自治会個別相談会 下土棚西自治会 1 区個別相談会 円行四つ辻自治会伴走支援 並木自治会個別相談会
7 月 7 月 3 日 7 月 26 日	パンフレット構想打ち合わせ 善行市民センター説明会 30 団体 47 名参加 長後市民センター説明会 22 団体 37 名参加 御行町町内会個別相談会 湘南大庭西部団地三街区共同住宅自治会個別相談会 堀町内会個別相談会 並木自治会伴走支援
8 月 8 月 26 日	市との連絡会議 辻堂市民センター説明会 14 団体 18 名参加

	オーシャンヒルズ自治会個別相談会
9 月	羽鳥長山町内会個別相談会 泉町町内会個別相談会 パンフレット材料集め 導入自治会へアンケートを実施 パンフレット案構成
10 月	中間報告資料作成 市との連絡会議 パンフレット等案構成 泉町町内会個別相談会 藤沢西部団地町内会個別相談会 円行四辻町内会個別談会
11 月 11 月 16 日	中間報告会 鵜沼石上町内会個別相談会 円行四ツ辻自治会個別相談会 デザイン会社との打ち合わせ パンフレット作成
12 月	パンフレット作成 湘南西部自治会個別相談会
2026 年 1 月	パンフレット等 市に納品

	
	
2月 2月21日 2月27日	鵜沼市民センター説明会 21 団体 30 名参加 一照会個別相談会
3月	善行地区平和台町内会個別相談会 実施報告書作成

7. 事業を実施して見えてきた課題	
【課題】 ・実施の不安を抱える自治会が多い・方法がわからない・やり手がいらない・回覧板だけでなく運営を電子化したい・新しい取り組みに消極的意見がある 【湘南ふじさわシニアネットとして所見】 電子回覧板を実施する必要があると感じている自治会は大半数であるが、どのように実施するか、不安を抱える自治会が大変多い。実施するにあたってのサポートが大変重要であると感じた。 また、電子回覧板だけでなく、自治会運営の省力化で、情報共有の重要性を訴えて、DXについても、サポートが必要であることを痛感した。	
8. 事業に対する自己評価・感想	
団体	各自治会に個別相談を行い、その後のフォローも行った。 16自治会が電子回覧板を導入し想定以上の成果を上げることができた。 ガイド発行にあたり、10自治会を事例集として紹介できた。 事業計画実施にあたり、各自治会から想定以上の様々なご意見やご支援いただいたことは、私たちの活動のスキルアップとなった。 今後、このようなアプリも増えていくような気がしますが、今後も研究をして、自治会をサポートしていきたい。
協働相手	自治会・町内会における事務の電子化については、テクニカルな内容をお伝えする以上に、自治会・町内会の中での文化及び意思決定方法等に難しさがあった。「特定非営利活動法人湘南ふじさわシニアネット」様は、その部分に対してもしっかりとフォローされていたため、想定以上の成果があげられたと考える。また、市民自治推進課としては、各市民センターとスムーズな連携が図れたことにより、当該団体が、自治会・町内会にすんなりと入り込むことがで

	きたと感じる。
9. 3年後、叶えたいミライ（ビジョン・取組・成果目標） 2年間の成果として、 【令和6・7年度実績】 市民センターでの説明会 12回開催 232自治会 個別相談会参加自治会数 45自治会 電子回覧板開始自治会数 16自治会 ※約半数の自治会が説明会に参加 【ビジョン】 多くの自治会町内会が電子回覧板を導入し、地域の回覧業務を負担に思う団体が減少されるミライ。 【成果目標】 概ね50団体（自治会町内会）が電子回覧板を導入する。 【取組】 〈2026年度〉 市民自治推進課と協働しながら、作成したガイドブック等を活用した電子回覧板の普及活動を継続する。 なお、令和7年度まで支給のあったミライカナエル活動サポート事業負担金については、令和8年度からは支給対象外となる。そのため、長期的な普及活動を実施するため、2026年度以降は導入団体から導入支援料（導入時1度のみ）を請求する。 ① 各自治会町内会へのガイドブックの郵送等 再度、自治会町内会へガイドブックを含めた周知を実施し、改めて実施方法の具体例や導入までのサポート機関がある旨などを周知し、導入促進を図る。 また、実際に導入済みの事例の紹介などを行い、具体的なイメージや導入によるメ	

リットの共有を行う。

【団体の役割】

ガイドブックの配架や管理、相談者への郵送等を行う。

【市民自治推進課の役割】

ガイドブックの配架や各自治会町内会への郵送等の協力を行う。

興味がある自治会町内会等からの問い合わせ等の取次協力を行う。

② 説明会等の実施

依頼があれば随時実施。

③ 個別相談・導入に向けた伴走支援

相談等の随時受付、個々の自治会町内会の状況に合わせた手法を提案し、導入までのきめ細やかなサポートを実施。

また、電信回覧板の導入や検討を行う際に自治会運営の省力化などを主とした情報共有の重要性を伝え、その他の DX 等を検討や導入するきっかけを提供する。

④ 適切なアドバイスができるよう研究を継続

利用アプリ等のアップデート内容等の定期的な確認などを行う。

ミライカナエル活動サポート事業 収支決算書

(収入の部)

費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
ミライカナエル活動サポート事業 補助金・負担金(千円未満切捨て)	997,000	997,000		
団体拠出金		7,475	7,475	会費より支出
合計	¥997,000	¥1,004,475	¥7,475	

(支出の部)

補助金 充当先	費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
○	人件費(1)	97,200	97,200		説明会講師 3か所*3時間*3名*3600円
○	人件費(2)	216,000	223,200	7,200	相談会 延べ62回*3600円
○	人件費(3)	144,000	100,800	-43,200	システム構築伴走支援 延べ28回*3600円
○	人件費(4)	160,000	393,600	233,600	伴走支援報告まとめ・パンフレット作成材料 延べ246回*1600円
○	交通費	39,000	47,460	8,460	説明会(3)・相談会(10) 実費
○	印刷製本費(1)	10,000	5,850	-4,150	説明会募集チラシ・相談会募集チラシ
○	謝金	200,000	49,500	-150,500	パンフレット デザイン料
○	印刷製本費(2)	80,000	86,865	6,865	パンフレット A4 フルカラー印刷費
○	雑費	50,800	0	-50,800	文房具・個別相談会資料印刷他
	合計	¥997,000	¥1,004,475	¥7,475	

※ 収入の部、支出の部の合計が一致するように作成してください。

別紙（第10号様式「7 経過と内容」）

事業名	マンション管理組合運営の活性化支援事業
団体名	特定非営利活動法人 湘南マンション管理組合ネットワーク
協働相手名	藤沢市 住まい暮らし政策課
1. 事業目的	
藤沢市内の住宅の約2割を占めるマンションにおいて、管理運営の更なる活性化に向けた支援を継続することにより、居住者の良好な住環境の確保を目指すとともに、地域住民への安心・安全なまちづくりに寄与する。	
2. 事業概要	
管理状況が思わしくないと思われるマンションに対し、管理組合の運営の現状を把握して、能動的に当該対象マンションへの支援を行うことにより、管理組合の管理運営の更なる活性化に貢献する。	
3. 成果目標	
① 藤沢市内の分譲マンションのうち、15件に対してヒアリングを実施し、マンションの管理の状況や課題の把握を行う。 ② ヒアリングを実施した15件のマンションの中から、支援を行うマンション（以下、支援マンションとする）を5件決定する。 ③ 支援マンションに対して、事前に住民アンケート等を実施し、支援内容を双方で合意する。その後、管理の活性化に向けて複数回訪問して支援を行う。 ④ 支援終了後、自律的で活性化されたマンション運営ができるような意識の醸成を目指す。	
4. 成果目標に対する結果	
① ヒアリング調査先の募集活動については、マンションへの直接訪問やポスティング、藤沢市によるHPへの掲載や依頼文の郵送などを行った結果、最終的に20件のマンションに対して、ヒアリング調査を実施することができた。また、後日、分析結果を各管理組合へフィードバックしたところ、管理の課題が明確になり、今後の活動に大いに参考になるとの評価をいただいた。 ② ヒアリングを実施したマンションの中から、継続的に支援マンションを決定するにあたって、「管理不全になるおそれのあるマンション」と「公的な支援として適切なマンション」であることを意識して選定作業を行った。管理組合側の事情で断られるこ	

ともあったが、試行錯誤の結果、5 件の支援マンションを決定した。

- ③ 事前の住民アンケートを実施のうえ、支援内容を決定して訪問支援を開始している。
- ④ 令和 7 年度の訪問支援回数は各 4 回であり、本事業全体では各 9 回の訪問を予定しているため、目標達成にはまだ時間を要するが、現時点において管理組合側から積極的な質問や主体的な取り組み姿勢が見受けられるなど、意識変革の兆しが着実に現れてきている。

5. 団体と協働相手の役割分担

団 体	① ヒアリング調査シートの作成
	② 選定した 20 件のマンションへのヒアリング調査の実施と報告書の作成
	③ 事前住民アンケートの実施と結果の報告書の作成
	④ 支援マンション 5 件への継続支援の実施
協 働 相 手	① マンション実態調査結果から、ヒアリング対象マンション 15 件の選定
	② ヒアリング対象マンションへの帯同訪問
	③ ヒアリングした 20 件のマンションから、支援マンション 5 件の選定
	④ 支援マンションへの支援状況の確認と対応策の協議

6. 実施した事業の内容・時期

年 月	実施内容
【2025 年】 4 月	・事業の推進方針や手順等の調整を行った。 ・市内の 650 件のマンション管理組合から、ヒアリング候補マンションの選定基準について、藤沢市が実施した実態調査結果に基づいて協議を行った。 ・「ヒアリング調査ご協力をお願い」文書案について検討した。 ・ヒアリングシートの内容について検討した。 ・会計報告の作成の仕方について協議した。
5 月	・ヒアリング候補マンションの募集活動の状況報告と対応について協議した。 ・「ヒアリング調査ご協力をお願い」文書案の調整を行った。

6月	・ヒアリングシートの内容について、さらに詳細に検討した。 ・市内マンション 29 件に対して、「ヒアリング調査ご協力のお願い」を送付した。 ・応募マンションが想定より少なかったため、計 304 件の市内マンションに対して、「ヒアリング調査ご協力のお願い」を追加送付した。 ・藤沢市 HP でヒアリング調査先の募集掲載を行った。 ・湘管ネットが関係するマンションや管理会社等に対して、ヒアリング調査への応募を呼び掛けた。 ・2 件の市内マンションに対して、ヒアリング調査を実施した。 ・「調査に関してのご案内」、「管理運営診断報告書（ヒアリングシート）」案について協議のうえ内容を確定した。 ・支援マンション 5 件の選定方法についても今後検討していくことにした。
7月	・ヒアリング候補マンション 15 件の選定に向けて状況の報告と今後の対応について協議した。 ・10 件の市内マンションに対して、ヒアリング調査を実施した。 ・支援対象マンションに対する、事前アンケートについて協議し、アンケート項目は少なめの 5 問程度とし、住民が答えやすい内容とすることにした。
8月	・ヒアリング調査を承諾したマンションは 15 件に達したが、15 件を超えた分も対応していくこととした。 ・5 件の市内マンションに対して、ヒアリング調査を実施した。 ・支援マンションへの支援項目について、役員の選出、管理規約の改正、長期修繕計画の作成と値上げ、災害マニュアルの整備など重点となる複数項目を検討した。

9月	・2件の市内マンションに対して、ヒアリング調査を実施した。 ・ヒアリングマンションのから、管理不全になるおそれのあるマンション、公的な支援先として適切なマンションであるか協議のうえ、5件の支援マンション候補を選定した。
10月	・1件の市内マンションに対して、ヒアリング調査を実施した。 ・計20件のマンションに対してヒアリング調査が完了し、調査終了とした。 ・支援マンション5件のうち4件を協議のうえ決定した。あとの1件は候補管理組合と今後調整のうえ決定することとした。
11月	・ヒアリング調査を行った20件のマンションに対して、結果報告書を提出し説明を行った。 ・支援マンション5件（候補1件含む）の推進状況について報告を行い、今後の対応を協議した。 ・マンションの支援を行うに際して、事前住民アンケート調査を行い、住民の声を支援に生かすこととする。ヒアリング結果及びアンケート調査の結果に従い、今後の支援について「支援計画提案書」を作成し、組合に提案して、管理組合の承認を得たうえで支援業務を行う手順とすることを原則とした。
12月	・各支援マンションに対して、初回の訪問支援を行った。 Aマンション：12月6日 Bマンション：11月29日 Cマンション：12月19日 Dマンション：12月13日 Eマンション：12月13日 ・支援マンション5件の推進状況について報告を行い、今後の対応を調整した。 ・「マンション管理活性化支援計画提案書」案について協議した。

【2026 年】 1 月	・支援マンションに対する「アンケートのお願い」案について協議した。 ・支援マンション 5 件の推進状況について報告を行い、今後の対応を調整した。 ・各支援マンションに対して、2 回目の訪問支援を行った。 - A マンション：1 月 17 日 - B マンション：1 月 14 日 - C マンション：1 月 28 日 - D マンション：1 月 10 日 - E マンション：1 月 22 日 ・「マンション管理活性化支援計画提案書」案について、協議・決定し、各マンションの支援状況に合わせて対応することとした。 ・支援マンションに対する「アンケートのお願い」案について、協議・決定し、各マンションの支援状況に合わせて対応することとした。
2 月	・支援マンション 5 件の推進状況について報告を行い、今後の対応を調整した。 ・各支援マンションに対して、3 回目の訪問支援を行った。 - A マンション：2 月 7 日 - B マンション：2 月 10 日 - C マンション：2 月 27 日 - D マンション：2 月 14 日 - E マンション：2 月 13 日 ・各支援マンションに対して、事前アンケートの結果報告を行った。 - B マンション：2 月 10 日 - C マンション：2 月 10 日

3月	E マンション：2月19日 ・支援マンション 5 件の推進状況について報告を行い、今後の対応を調整した。 ・各支援マンションに対して、4 回目の訪問支援を行った。 A マンション：3月7日 B マンション：3月18日 C マンション：3月24日 D マンション：3月14日 E マンション：3月5日 ・令和7年度の活動内容をまとめる作業を行った。
7. 事業を実施して見えてきた課題	
① 管理水準が低い可能性があるマンションについては、支援が必要であるが、アプローチに対しても消極的な傾向があり、将来的な管理不全マンションの発生数の予測が困難であること。 ② 管理人室がなく、郵便物も届かないなど、連絡先が不明のマンションが多く存在しており、これらのマンションの管理状況の把握や、周知・啓発を行うことも難しいこと。 ③ 管理組合は、それぞれの管理の方法で運営しており、一元的な対応では、円滑な管理ができないため、それぞれの管理組合に合った支援が求められること。	
8. 事業に対する自己評価・感想	
団 体	①自治体との協働事業として、活動を実施したことで、管理組合からの信頼性が高まり、団体のみの取り組みよりも受け入れられやすい環境の中で活動できた。 ②管理水準が低いマンションほど、ヒアリング調査や支援に対して消極的であるという傾向をつかむことができた。 ③外観が良好に維持されているマンションでも、必ずしも適正な管理が行われているとは限らないという実態を把握することができた。 ④支援活動を継続して進めていく中で、管理組合の運営の経緯や内情を理解することで、さらに管理組合に寄り添ったサポートができるように感じた。

	⑤それぞれの管理組合で、独自に創意工夫されている事項があり、他の組合への提案の際の貴重なヒントになった。 ⑥毎月の定例会で、各マンションの管理の実情や対応策などについて議論したことにより深い知見が得られたので、今後の管理組合の支援にフィードバックしていきたい。
協働相手	専門家（マンション管理士）の団体との協働により、市職員の専門知識不足を補い、個別マンションに対して訪問ヒアリング調査を実施できたことは、本市のマンション施策において新たな取り組みであり、大きな成果であった。 また、市職員は定期的な異動があることから、ナレッジ・ノウハウの蓄積が難しいといった課題に対しても、当該団体との継続的な協働により、施策の連続性を確保し、円滑な推進の実現への可能性を感じることができた。
9. 3年後、叶えたいミライ（ビジョン・取組・成果目標）	
【ビジョン】 藤沢市との協働体制を継続し、管理状況に課題を抱えるマンション管理組合に対して、安定した支援を提供できる体制を構築する。 【成果目標】 ① マンション管理適正化支援法人への登録 ② 本事業の支援マンションにおける、以下の成功事例の展開先となるマンションの掘り起こし ・管理規約の改定：1件 ・長期修繕計画の作成または改定：1件 ・管理組合の役員体制または任期の見直し：1件 ・管理組合の役員報酬等の導入：1件 ・管理組合の円滑な運営体制の構築：1件 【次年度以降の取組】 <令和8年度>	

- ① 支援マンションに対して、2026 年 4 月～11 月まで各 5 回の訪問支援を実施する。
- ② 訪問支援の経過、効果の判定、課題の洗い出し、今後の対応等を検討し、報告書を作成する。
- ③ 藤沢市ホームページにて取組内容を公開し、周知を行う。

<令和 9 年度>

- ① 支援マンション 5 件に対して、高経年マンションが多いことから、定期的なフォローアップを実施する。これにより、他マンションのモデルケースとしての役割を継続できるよう、必要に応じて引き続きサポートを行う。
- ② 本事業で得られた経験およびノウハウに基づき、定期的かつ長期的（年単位）なサポートが可能な支援体制の整備を目指す。具体的には、人材の確保や業務経費のコストダウン化等について検討を行う。
- ③ 藤沢市がマンション管理適正化支援法人の登録制度の受け入れ体制を整えた際には、速やかに登録申請を行う。
- ④ 以下の活動を積極的に実施し、本事業の成功事例を展開できるマンションを掘り起こす。
 - ・セミナーや情報交換会などのイベントの開催
 - ・管理状況を把握するため、訪問等の能動的なアプローチ

ミライカナエル活動サポート事業 収支決算書

(収入の部)

＜協働コース1年目分＞

費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
ミライカナエル活動サポート事業 補助金・負担金(千円未満切捨て)	1,500,000	1,500,000	0	
自己資金	100,000	71,153	-28,847	湘管ネット会計より
合 計	¥1,600,000	¥1,571,153	¥-28,847	

(支出の部)

補助金 充当先	費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
○	1. ヒヤリング・支援準備費	170,000	170,000	0	1,000円×5名×34時間
○	2. 専門家派遣費	1,050,000	1,050,000	0	ヒアリング調査15,000円 ×2名×15件 支援事 業 15,000円×2名×5件 ×4ヶ月
○	3. 交通費	130,000	133,088	3,088	ヒアリング調査34,720円 会議・打合せ出席98,368 円
○	4. 通信費	9,000	2,970	-6,030	レターパック(430円×6枚 =2,580円) 特定記録郵便(390円)
○	5. 印刷製本費	10,000	13,255	3,255	ヒヤリング調査・アンケー ト印刷代(7,425円) 資料印刷(5,830円)
○	6. 使用料	3,600	360	-3,240	推進センター会議室
○	7. 事務用品費	8,000	6,480	-1,520	ファイル(4,236円) バインダー(1,078円) その他事務用品(1,166 円)
○	8. 業務報告書作成費	75,000	75,000	0	1,000円×75時間
○	9. 事業実施管理費	120,000	120,000	0	5,000円×2名×12ヵ月
○	10. 雑費	24,400	0	-24,400	
	合 計	¥1,600,000	¥1,571,153	¥-28,847	

※ 収入の部、支出の部の合計が一致するように作成してください。

別紙（第10号様式「7 経過と内容」）

事業名	子どもたちを地域で育てる吹奏楽文化の振興事業
団体名	六会リトルアンサンブル（MLE）
協働相手名	藤沢市教育委員会 教育指導課
1. 事業目的	
六会リトルアンサンブル（MLE）として、小学生の吹奏楽バンドの活動を継続し、現在進行している中学生の部活動についての地域移行や地域連携の事業を周知しながら2年間で一つのモデルケースを示していく。	
2. 事業概要	
市民活動と共に部活動地域移行の理解を深める広報活動を行う。先行地域のアドバイザーを迎え、ご助言いただき、藤沢市にあった形を実現する為、活動の様子やコンサートも開催し、未来の姿の一端を示していく。	
3. 成果目標	
MLE メンバーの人数増（毎年20名程度の団員の維持）を目指すため、各事業を通してのアンケートや感想を活用する。また、藤沢市内中学生の部活動についての地域移行・地域連携に向けたモデルケースを示すため、2022年に関係者に行われたアンケートや今後の事業ごとの感想や終了後のアンケートのまとめを参考に、部活動の地域移行・地域連携について10%程度の理解向上を目指し、その後の各事業につないでいく。	
4. 成果目標に対する結果	
- MLE メンバーの人数増（20人程度の団員維持）について → 今年度初めの団員数8名だったが、今年度末の人数19名となり、倍以上の人数になったのでほぼ達成できた。 - 藤沢市内中学生の部活動についての地域移行・地域連携のモデルケースを示すことについて → 「未来ふじさわ吹奏楽団」という中学生のための市民バンドを10月に立ち上げることができた。活動に参加する生徒は、吹奏楽の経験がある生徒(6名)と初心者の生徒(2名)の合計8名が有意義な活動を行った。 - 各事業ごとのアンケート実施、そこからの部活動地域移行・地域連携について10%程度の理解向上を目指し、その後の各事業につなげていくことについて → 中学生バンドの立ち上げに時間が掛かり、アンケートは3月の合同発表会でしか、取ることができなかった。この取り組みに対するご理解や評価をする感想は散見されたが、理解を促すためのアプローチは不足しているため、目標を達成するに至らなかった。	

5. 団体と協働相手の役割分担	
団 体	市民活動として本団体が行う「小学生の吹奏楽バンド」の活動を通して、小学生・中学生を取り巻く文化的な活動に市民が目向け、その活動を地域で展開していく役割を理解しながら、藤沢市の中で活動の実践を行っていききたい。 また、中学生を取り巻く部活動の地域移行・地域連携についても喫緊の課題であり、教育委員会として様々な取り組みをする中で、少しでも足掛かりになることを見つけながら、推進に貢献していきたいと考えている。
協 働 相 手	本市教育委員会教育指導課は、令和 5 年度より「部活動地域移行・地域連携」に部活動担当部署として取り組んでいる。2 つの運動部で委託事業として地域クラブモデル実証を開始したが、文化部では未着手であることから、六会中学校を拠点とした六会リトルアンサンブルと地域の中学校吹奏楽部との「地域クラブ活動」の取組を本事業を通じて支援し、その取組を市内各所に未来の市民活動のモデル例として、発信し広めたいと考えている。
6. 実施した事業の内容・時期	
年 月	実施内容
2025 年 4 ～ 6 月	・中学生バンドの周知に向けての準備、団員募集説明会及び体験入団の準備
2025 年 7 月	・団員募集説明会のチラシ・ポスターの作成、及び中学校（50 部）各市民センター（10 部）に配布。（資料 1・2）広報ふじさわ掲載。
2025 年 8 月	・団員募集説明会の実施（資料 3-1）教育指導課出席 ① 8/2(土) 六会市民 C 10:00～11:00 4 名参加 ② 8/3(日) 明治市民 C 10:00～11:00 9 名参加 ③ 8/5(火) 長後市民 C 13:30～14:30 3 名参加 ④ 8/7(木) 市民利用会議室 18:00～19:00 4 名参加 (中学 1 ～ 3 年 吹奏楽部所属/初心者 12 名)
2025 年 9 月	・体験入団の実施（資料 3-2）教育指導課出席 9/13(土)・9/20(土)の 2 回 六会市民 C(延べ 16 名参加)
2025 年 10 月	・本入団、練習開始 ・合同発表会チラシ作成 各中学校・市民 C に配布(資料 4) ・10/18(土)「ふるさとまつり」出演 六会市民 C（資料 5） 六会中・MLE・未来ふじさわ吹奏楽団で合同演奏及び PR ・プラザむつあい 湘南台駅地下道パネル展示（資料 6）
2025 年 11 月	・11/22(土) 湘南台アートスクエアライブに出演(資料 7)

2025 年 12 月 2026 年 1 月 2026 年 2 月 2026 年 3 月	教育指導課出席 MLE と未来ふじさわ吹奏楽団で合同演奏と PR ・レディオ湘南「地域に出張！」に出演のため収録 ・市民活動推進センター パネル展示（市役所 1F）（資料 8） ・六会駅前イルミネーションコンサート出演(資料 9) ・ミライカナエル活動サポート事業交流会参加（資料 10） ・楽器寄附を募るチラシ及び合同発表会の周知チラシ作成・六会地区回覧（資料 11・12） ・MLE の HP 更新（合同発表会のお知らせ） ・市民活動大交流会出演(資料 13) MLE と未来ふじさわ吹奏楽団で合同演奏と PR ・広報ふじさわに発表会のお知らせ掲載 ・第 1 回未来ふじさわ吹奏楽団/第 12 回六会リトルアンサンブル（MLE）合同演奏会（湘南台市民シアターホール） スタッフ 15 名、観客数 200 名強 教育指導課出席 未来ふじさわ吹奏楽団（中学生バンド）について 今年度の本入団者 8 名（うち経験者 6 名、初心者 2 名） 六会リトルアンサンブル（小学生バンド）について 今年度初めの団員数 8 名→今年度末の人数 19 名 （資料 14-プログラム・資料 15-写真・資料 16-アンケート /生徒感想まとめ）
7. 事業を実施して見えてきた課題 ・中学生バンドの立ち上げまでに時間が掛ったため「ふれあいサマーコンサート」の出演に至らなかった。 ・地域で活動する小学生・中学生の部活動に代わる活動を想定した時、広い範囲でのたくさんの市民の理解と協力が必要であるため、どう伝えていくか課題である。 ・様々なイベントを通して活動している姿を見たいいただく機会を多く持つことが、次の活動への足掛かりになるので PR 方法の工夫が課題である。 ・楽器を揃えるために寄付を募っても修理や調整にとってもお金が掛かるので助成金だけではまかなえず、楽器メンテナンス費用の捻出方法の工夫が課題である。 ・中学生の参加状況から、楽器経験のある生徒への質の高い技術指導と初心者に合った指導の両方が必要であることから、指導面での工夫が課題である。 ・公共施設を市民活動で使用する場合の方法に課題がある。	

8. 事業に対する自己評価・感想	
団体	・計画した事業の内容を進めていくことで精いっぱいだった。 ・子どもたちの成長は、とても大きく、この事業を進めていく意義は十分にあると実感した。 ・事業内容を精査し、2年目の事業をさらに充実したものにしていきたい。
協働相手	・中学生が学校外での活動に参加することで、同じ興味・関心をもった他校の中学生や指導者と多様な学びや経験をする機会が生まれ、さらに自らの興味・関心を深く追及することができるなど充実した活動の場となった。 ・中学校の部活動には所属していない子どもが参加し、生き生きと活動している姿を見ることができた。 ・地域団体が学校施設を使用する際に、必要となる手続きを整理することができたが、学校施設や備品の借用をする際に、学校側と団体側の考えの相違を調整することに苦慮した。 ・本事業は、部活動の地域展開のモデルケースとなり得る事業としてモニタリングを行ってきたが、本市が現状想定する地域展開における地域クラブとしての役割を担うためには、活動場所の確保や運営資金の調達など、様々な課題がある。一方で、吹奏楽に触れたいという子供たちの受け入れ先としては大変有益な地域活動であると捉えていることから、令和8年度においては、本協働事業終了後に本団体が自走できる形が確立できるよう、サポートしていきたい。
9. 3年後、叶えたいミライ（ビジョン・取組・成果目標）	
【3年後にかなえたいミライ（ビジョン）】 ・小学生の吹奏楽バンドとしての活動を藤沢市全体に周知し、広報活動を通じて楽しさを伝え、継続的に20名程度の団員で活動していきたい。また現在、教育指導課が取り組んでいる中学校部活動の地域移行・地域連携についても協働して取り組むことで、児童・生徒のための地域に根差した文化活動のモデルの一つを示していきたい。 <2026年度> 1. 【周知活動事業の実施】 1年目の活動を通して見えてきた課題やアンケートの内容から分析したことを生かし、2年目の活動内容に沿って周知する。 団員募集・ふれあいサマーコンサート・合同発表会等のチラシを配布する。 2. 【アドバイザーとの実態検証事業】 1年目の事業の状況を踏まえて、アドバイザーから今後の課題について客観的な意見を得ながら、藤沢市にふさわしい活動にしていくためのアドバイスをいただく。 また、「ふれあいサマーコンサート」において、部活動の地域移行・地域連携についての市民への理解を進めるためのご講演をいただき、10%程度の理解向上を目指す。 3. 【活動公開実施事業】 今年度は年度初めから中学生の活動ができるため、市民活動としての課題等について、見ていただいた方にご意見を伺い参考にする。 ・練習については、随時公開 ・演奏の機会 6回/年実施 合同演奏会では、250名以上の来場者を目指し、来場者アンケートを参考にする。	

ミライカナエル活動サポート事業 収支決算書

(収入の部)

費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
ミライカナエル活動サポート事業 補助金・負担金(千円未満切捨て)	1,500,000	1,500,000		
団体拠出金	51,716	30,507	-21,209	
合計	¥1,551,716	¥1,530,507	¥-21,209	

(支出の部)

補助金 充当先	費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
○	助言サポート講師依頼謝金	100,000	111,371	11,371	静岡県掛川市から視察助言 自宅～会場までの交通費 ふれあいサマーコンサート(2回) ¥33,460 合同発表会(2回) ¥33,680 活動視察 ¥32,860 すべて交通費 税金 ¥11,371
○	コンサート費用	145,595	124,075	-21,520	2026年度ふれあいサマーコンサート会場予約 費 ¥15,290 2026年度合同発表会予約費 ¥29,435 2025年度予約費 ¥26,630 当日経費 ¥52,720(楽屋代、スタジオ、舞台備 品・ピアノ等)
○	チラシ・ポスター・パンフレット代	108,097	67,030	-41,067	団員募集説明会ポスター100枚 ¥10,530 チラシ1500枚 ¥12,746 発表会チラシ両面2300枚 ¥8,548 片面1300枚 ¥3,389 楽器寄付チラシ 1100枚 ¥4,303 発表会パンフレット 300部 ¥27,514
○	通信運搬費	8,000	7,850	-150	協定書送付切手代 ¥320 レターバックライト 10枚 ¥4,300 葉書 38枚 ¥3,230
○	トラック楽器運搬費	40,000	18,293	-21,707	コンサート1回分レンタカー ¥17,710 ガソリン代 ¥583
○	楽器レンタルリース費	154,000	154,000		チューバ(YBB3212) 22,000X7か月
○	楽器消耗品・修理費	566,521	615,851	49,330	楽器修理費 ¥520,748 内訳: トロンボーン クラリネット ホルン アルトサク クス2 トランペット2 バスクラリネット ユー フォニアム フルート2 消耗品費 ¥95,103 内訳: マウスピース(トランペット クラリネット) リガチャー(クラリネット) リード(クラリネット アルトサククス テナー サククスバスクラ)譜面台9本
○	事務用品	167,030	167,030		ノートPC ¥112,548 プリンター ¥24,800 ラミネーター ¥14,500 消費税 ¥15,184
○	事務用品消耗品	54,583	56,117	1,534	クリアファイル、ラミネートフィルム、インク、紙 ¥54,583 クラフト封筒角2 ¥767X2袋= ¥1,534
○	人件費	200,000	201,000	1,000	1,000円X延べ201名分 4月(25)5月(24)6月(13)7月(35)8月(29)9月(45) 10月(30)
○	ボランティア保険	4,140	4,140		(公財)スポーツ安全協会スポーツ安全保険A2 ¥4,000(¥800X5名) 手数料 ¥140
○	会場使用料	3,750	3,750		会議室使用料(団員募集説明会1回・定例会6回) 市民利用会議室 ¥2,250 未来・MLE定例会6回分 (長後・六会各市民センター) ¥1,500
	合計	¥1,551,716	¥1,530,507	¥-21,209	

※ 収入の部、支出の部の合計が一致するように作成してください。

藤沢市役所 市民自治推進課

電 話 0466-50-3516

FAX 0466-50-8407

Email fj1-jiti-s2@city.fujisawa.lg.jp

発行:2026年(令和8年)6月